

KENWOOD

ミニディスクレコーダー

DM-3090

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットを採用したオーディオ機器です。ミニディスク(MD)とは、光および光磁気の技術を応用して、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(CD)と同等になっています。また、光学的非接触方式なので、外部要因で録音記録が劣化することがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくこともありません。

シンクロ・レコーディング機能

外部に接続した機器の再生をスタートすると、自動的に本機の録音スタートする、便利なシンクロ録音機能をそなえています。

サンプリング・レート・コンバーター搭載

CDだけでなく、DATテープやBS放送などから、直接デジタル録音ができる、サンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

モノラル長時間録音が可能

モノラル録音のときは、倍の録音ができるモノラル長時間モードを備えています。

色々な入力に対応できる入力端子

色々な入力に対応した、2種類のデジタル入力端子と、アナログ入力端子をそなえています。

ジョグダイヤルによる簡単サーチ

曲のスキップや、早送り、早戻し、および、文字入力などが簡単にできる、ジョグダイヤルを備えています。

タイマー機能搭載

留守録に便利なタイマー機能を搭載しています。

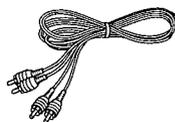
録音日時を記録できるタイムスタンプ機能

録音した年月日や、時間を記録できるタイムスタンプ機能付です。

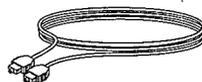
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

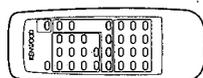
オーディオコード(2本)



光ファイバーケーブル(1本)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単3乾電池(2本)



目次

△ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

はじめに	2
本機の特徴	2
付属品	2
目次	3
△ 安全上のご注意	4
ご使用のまえに	8
MDシステムとは	10
各部のなまえ	11
本体部	11
表示部	11
リモコン部	12
ヘッドホンを使うには	12
リモコンの使いかた	13
△ 接続のしかたと準備	14
時計を合わせる	16
MDを聴く	18
1曲目から順に聴く	18
聴きたい曲を選ぶ	20
繰り返し聴く/順不同に聴く	21
プログラムのしかた	22
録音のしかた	24
サウンドシンクロ録音をする	26
マニュアル録音をする	28
モノラルで長時間録音をするには	29
録音をやり直すとき	29
録音中に好きなところに曲番を付けるとき	30
曲番を付けずに1つの曲として録音するには	30
編集をする	31
編集機能の選びかた	32
曲を分ける(DIVIDE機能)	33
曲をつなぐ(COMBINE機能)	34
曲を移動する(MOVE機能)	35
曲をプログラムして移動する(PROGRAMMED MOVE機能)	36
1曲ずつ曲を消す(ERASE機能)	37
すべての曲を消す(ALL ERASE機能)	38
ディスク名や曲名を付ける	39
内蔵タイマーの使い方	45
故障と思われる症状ですが	48
定格	51
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	52

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告

DM-3090 (J)

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



使用禁止

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



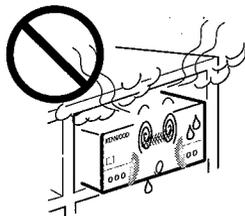
• 修理をご依頼ください。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
 - 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
 - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

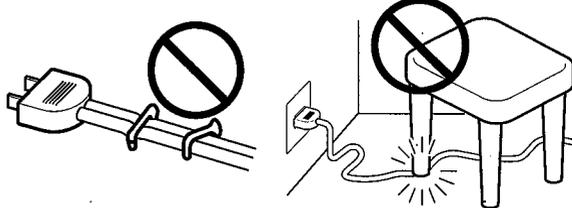


電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。



- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
 - 敷物の下に電源コードを隠さない。
 - 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
 - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



風呂、シャワー室での使用禁止。



異常かな？と思ったら

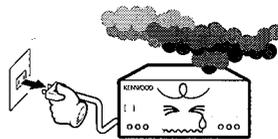
煙が出たり、変な臭いや音がある場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け

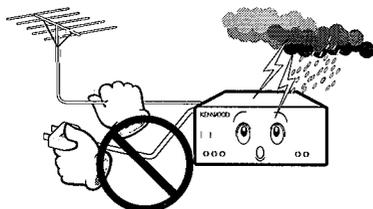


雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



接触禁止



乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



警告

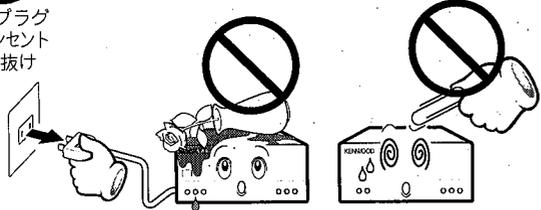
DM-3090 (J)

水ぬれ
禁止

機器の内部に異物や水を入れない
内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

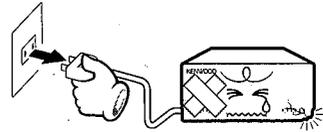
電源プラグ
をコンセント
から抜け

落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

電源プラグ
をコンセント
から抜け

ケースを絶対に開けないでください

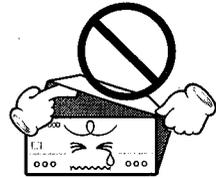
機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



分解禁止

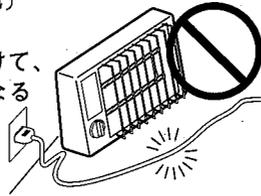


注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

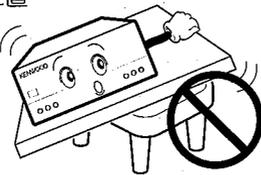
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

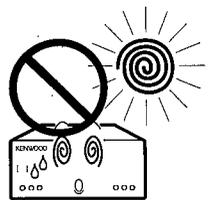
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を開めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》

水ぬれ
禁止電源プラグ
をコンセント
から抜け

長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

音量に気をつけて



はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は



電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》



お子様にご注意

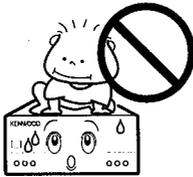
お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



指をはさまれないよう注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-)の向きに注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



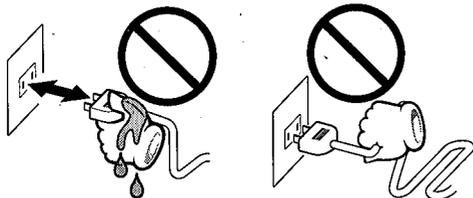
電源プラグの抜き差しは



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



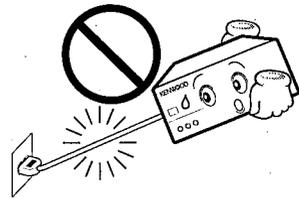
機器を移動させる際は



電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



電源プラグは清潔に



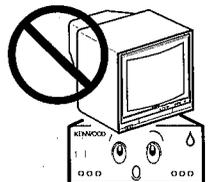
1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



取扱上のご注意

設置場所について

MDレコーダーは、振動に対して敏感な機器です。できるだけ振動のない場所に設置してください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従って、ミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから、取り出してください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温度との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

使用中に正常に働かなくなったときは

次のようにしてください。

- ① ON/STAND BYキーを押してSTAND-BYモードにする。
- ② ACコードを一度コンセントから抜き、挿し直す。
- ③ ON/STAND BYキーを押し、電源を入れる。
- ④ ①～③の操作で正常にならない場合はRESETキーを押す（「正常な動作をしなくなったときは」→[49](#)）

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶぎします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を變形させることがあります。

ミニディスクの取扱いかた

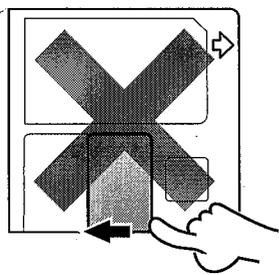
ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。

いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。

無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

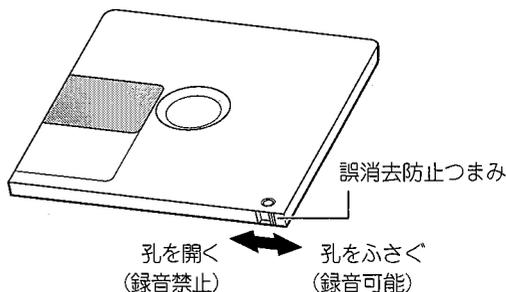
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

ミニディスク裏面



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記をお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

東京オペラシティタワー 11F

東京オペラシティ郵便局 私書箱 2583号

電話 (03) 5353-0336

FAX (03) 5353-0337

ミニディスクシステムの特長をまとめると、次のようになります。

- ① CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ② カートリッジに入った直径64mmのディスクを使用する。
- ③ 2種類のディスクに対応する。(再生専用、録音→再生)
- ④ 高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤ 半導体メモリーを使った耐震技術。

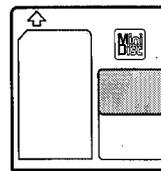
再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



録音用ミニディスク

録音可能なミニディスクで、光磁気ディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ディスクの下面からレーザー光を照射し、ミニディスクの上面から磁界を印加して記録しています。



アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング

高能率符号化技術: ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音



大きな音の近くの小さな音

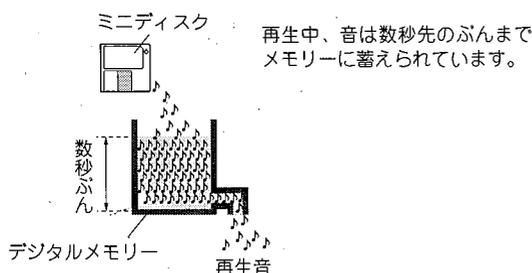
大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。(マスキング効果)



音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

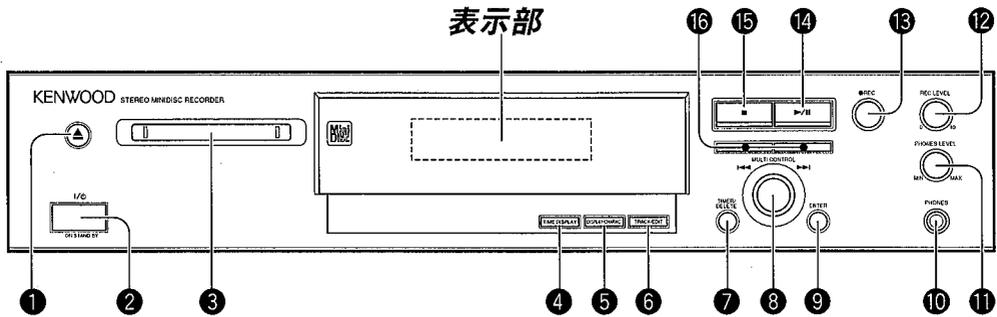
通常再生時



震動があったとき

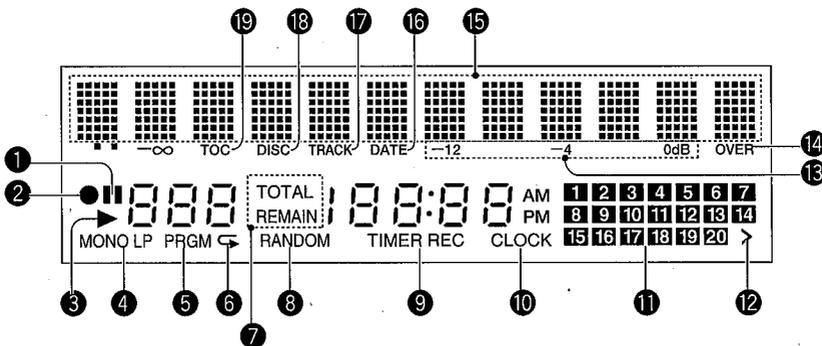


本体部



- ① ▲キー(取り出しキー)
オン/スタンバイ
- ② ON/STAND BYキー(電源キー)
- ③ MD挿入口
- ④ TIME DISPLAYキー(時間表示キー)
タイムディスプレイ
- ⑤ DISPLAY/CHARACキー(表示切換/文字選択キー)
ディスプレイ/キャラクター
- ⑥ TRACK/EDITキー(編集キー)
トラック/エディット
- ⑦ TIMER/DELETEキー(タイマー/消去キー)
タイマー/デリート
- ⑧ MULTI CONTROLジョグダイヤル
マルチコントロール
- ⑨ ENTERキー(実行キー)
エンター
- ⑩ PHONESジャック(ヘッドホンジャック)
ホーンズ
- ⑪ PHONES LEVELツマミ(ヘッドホン音量ツマミ)
ホーンズ レベル
- ⑫ REC LEVELツマミ(録音レベル調節ツマミ)
レック レベル
- ⑬ ● RECキー(録音キー)
- ⑭ ▶/|| キー(再生/一時停止キー)
- ⑮ ■キー(停止キー)
- ⑯ ◀◀ キー、▶▶ キー(早戻しキー、早送りキー)

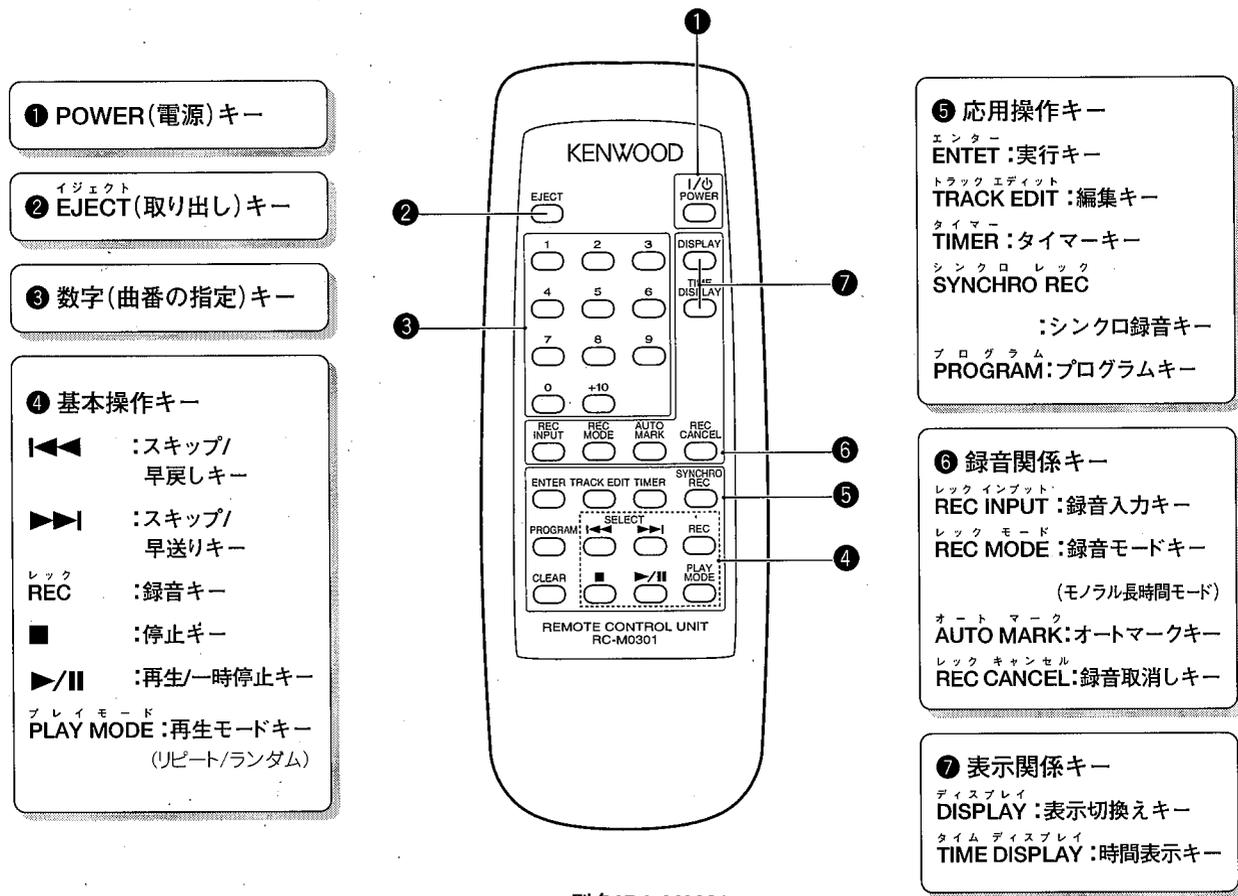
表示部



- ① || (ポーズ)表示
- ② ● (録音)表示
- ③ ▶ (再生)表示
モノロングプレイ
- ④ MONO LP (モノラル長時間モード)表示
プログラム
- ⑤ PRGM (プログラムモード)表示
- ⑥ ⇄ (リピート)表示
トータル リメイン
- ⑦ TOTAL (総時間)表示/REMAIN (残り時間)表示
ランダム
- ⑧ RANDOM (ランダム)表示
タイマータイマーレック
- ⑨ TIMER/TIMER REC (タイマー/タイマー録音)表示
クロック
- ⑩ CLOCK (時計)表示
- ⑪ ミュージックカレンダー(残り曲、プログラム曲)表示
- ⑫ モアトラック表示(21曲以上ある場合の表示)
- ⑬ 録音レベル表示
- ⑭ 録音レベルオーバー表示
- ⑮ レベルメーター/文字情報表示
デート
- ⑯ DATE (日付)表示
トラック
- ⑰ TRACK (トラックモード)表示
ディスク
- ⑱ DISC表示
トラック
- ⑲ TOC (トラック編集モード)表示

リモコン部

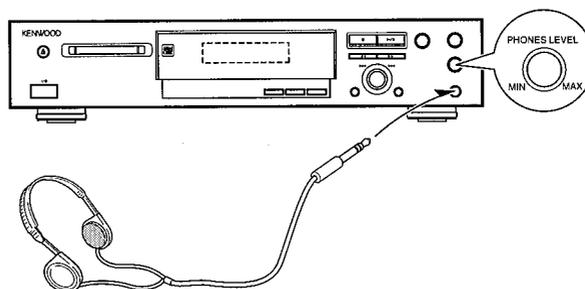
本リモコンは、基本操作およびいろいろな応用操作キーが収納されており、さまざまな用途にご利用できます。
またリモコンをなくさぬように保管してください。



型名:RC-M0301
赤外線方式

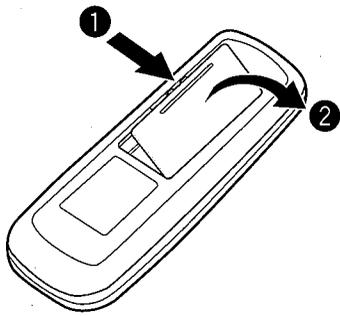
ヘッドホンを使うには

別売のステレオヘッドホン(標準プラグ付)をPHONES端子に差し込み、前面のPHONES LEVELつまみで、お好みの音量に調節してお聴きください。

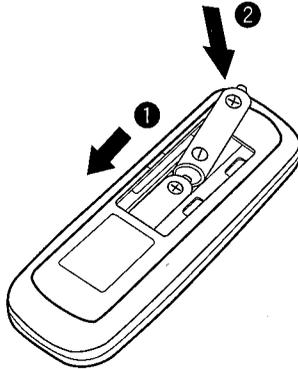


電池の入れかた

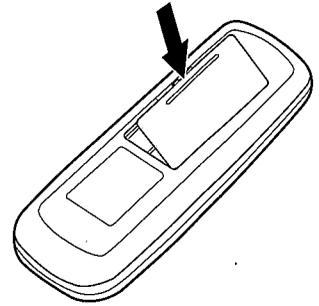
1 カバーを開ける



2 電池を入れる



3 カバーを閉める



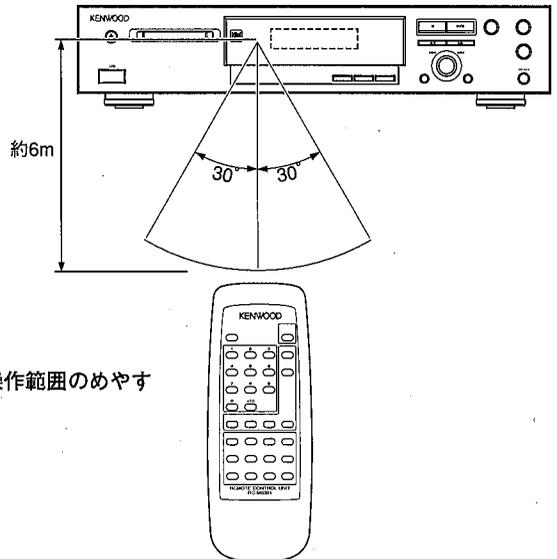
- 単3乾電池[®] (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、本体のON/STAND BY^{オン/スタンバイ}キーを押し、スタンバイ状態にします。その後、リモコンのPOWER^{パワー}キーを押し、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度POWERキーを押すと、スタンバイ状態になります。

リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

接続のしかた

下図のように接続してください。
接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。



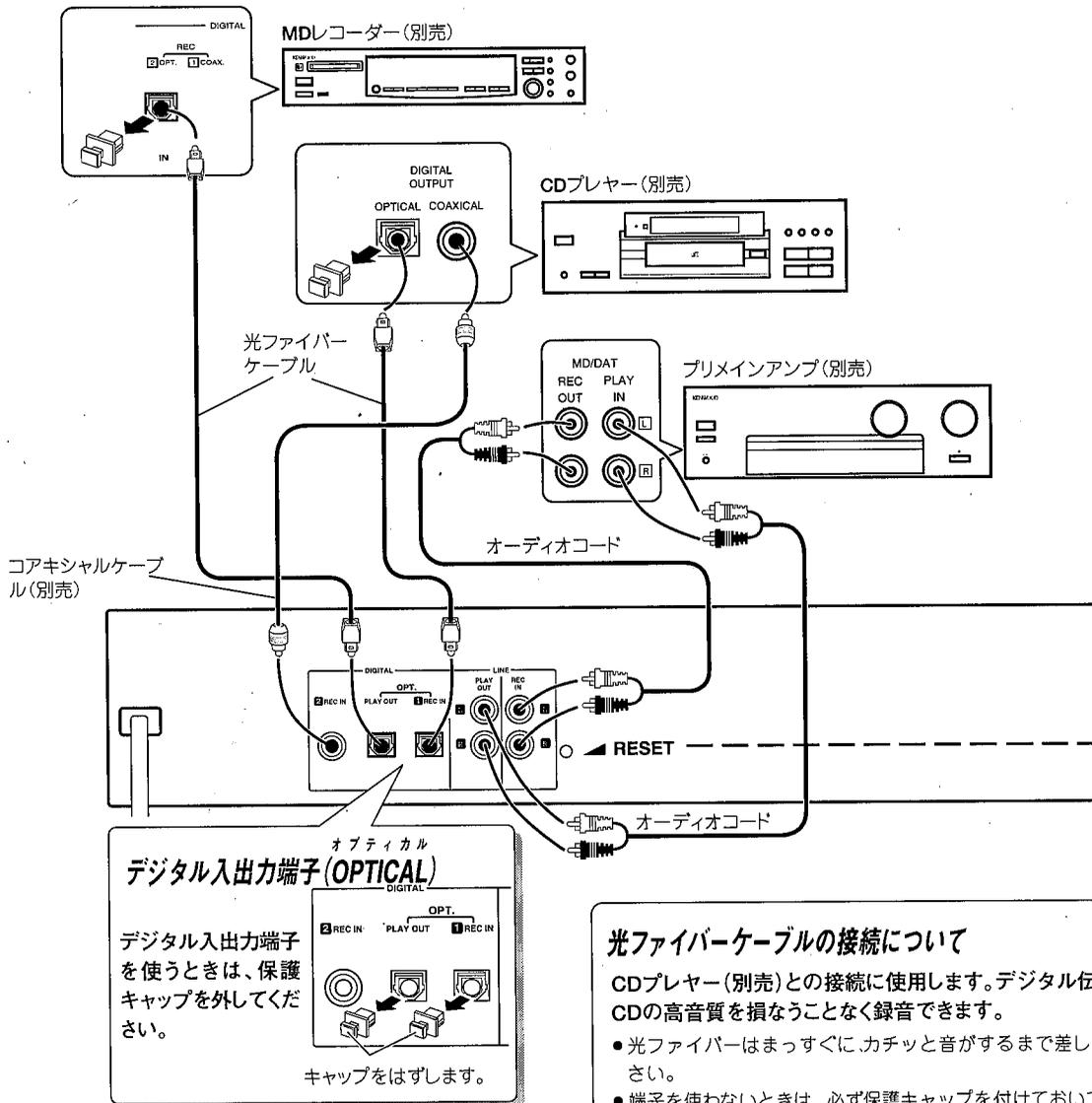
注意

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

マイコンの誤動作について



正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「正常な動作をしなくなったときは」の項を参照してマイコンをリセットしてください。→ 48



光ファイバーケーブルの代わりに市販のコアキシャルケーブルを使うこともできます(録音入力のみ)。その場合はCOAX.端子に接続してください。

光ファイバーケーブルの接続について

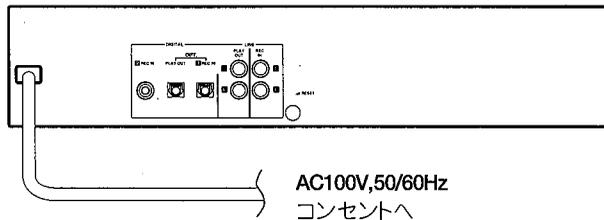
CDプレーヤー(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

- 光ファイバーはまっすぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。



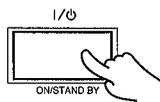
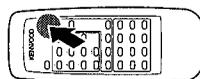
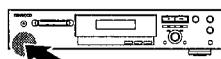
1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

電源コードの接続



- 電源コードをコンセントに差し込んであるときは、電源スイッチがオフのときでも、微かな電流が流れています。
- 長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

電源の入れかた



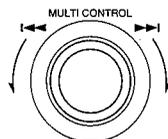
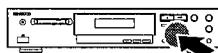
- 電源が入ると表示が下のようになります。
- もう一度キーを押すと電源が切れます。

TIME ADJUST
- - - -
CLOCK

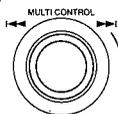
NO DISC
- - - -

ジョグダイヤルの使いかた

ジョグダイヤルは、曲番を選んだり(→20)、文字を選ぶとき(→39)に使います。



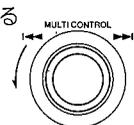
曲番が繰り上がる



1 REMAN 3:43

- ダイヤルを静かに回すと約15°の角度で止まります。これは、リモコンキーの◀◀キー、▶▶キーを押して、飛び越し選曲をするときと同じ働きをします。

曲番が繰り下がる



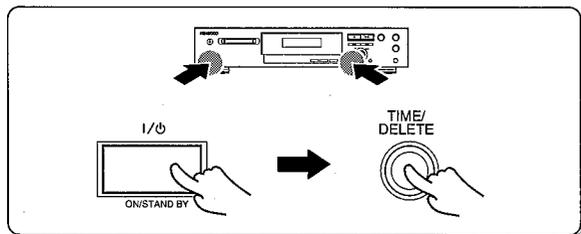
↑ ↓
2 REMAN 4:58

曲番

時計を合わせる

始めに時計を合わせておきます。時計を合わせるにより、録音時に正確な日時を記録したり、タイマーを使うことができます。

1 電源を入れ、^{タイマー/デリート} **TIMER/DELETE** キーを押す

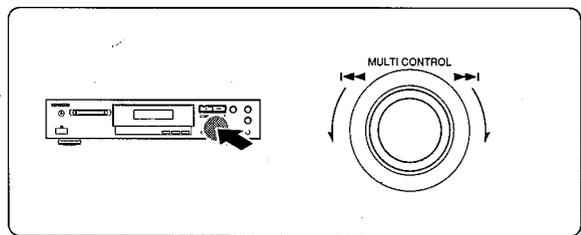


- オンスタンバイ
- ON/STAND BY キーを押して電源を入れ、**TIMER/DELETE** キーを押す。

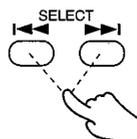
TIMER SET

- 時計セットの操作が10秒以上中断した場合は、始めからやり直してください。

2 ジョグダイヤルで^{タイムアジャスト} **"TIME ADJUST"** を表示させる

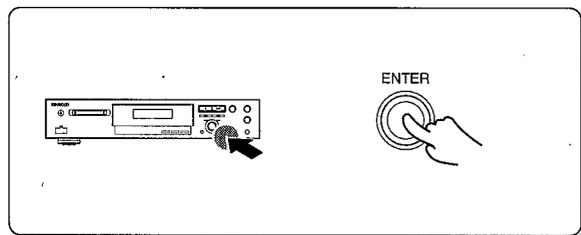


- 日時の設定はジョグダイヤルの替わりにリモコンの ◀◀ キー、▶▶ キーでも操作できます。



TIME ADJUST
- - - -
CLOCK

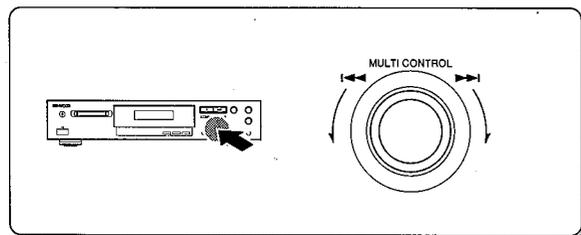
3 ^{エンター} **ENTER** キーを押す



- 日付の設定モードになります。

'97 01.01
0:00 AM
CLOCK

4 "年" を合わせる

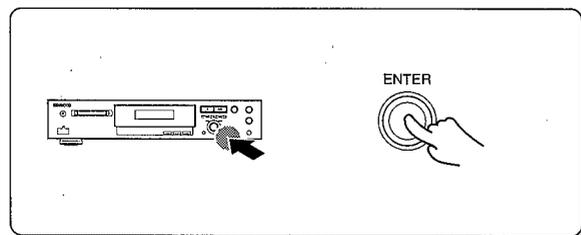


- ジョグダイヤルを回して、離すと"年"が1年づつ繰り上がり、または繰り下がります。

'97 01.01
0:00 AM
CLOCK

- 西暦2000年以降を入れる場合は下のようになります。
2000年→"00"を表示させる
2001年→"01"を表示させる

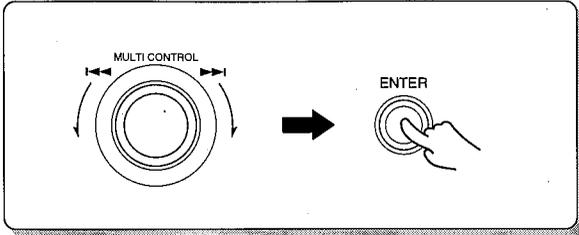
5 ^{エンター} **ENTER** キーを押す



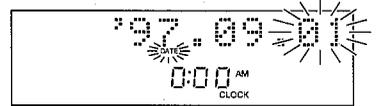
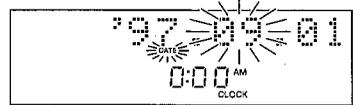
- ENTER キーを押すと"年"が確定して、月の設定モードになります。

'97 01.01
0:00 AM
CLOCK

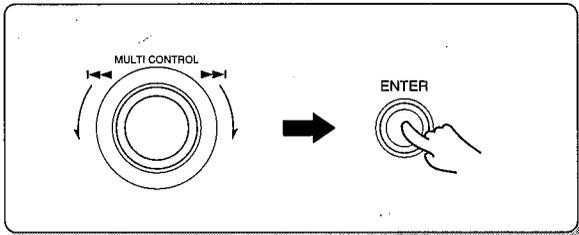
6 "月" を合わせる



- 4 と 5 の操作を繰り返し "月" を合わせます。



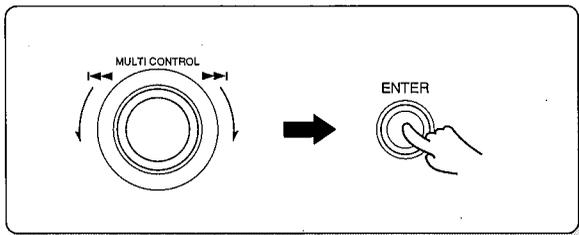
7 "日" を合わせる



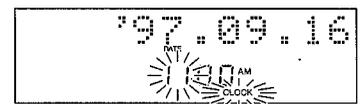
- 4 と 5 の操作を繰り返し "日" を合わせます。



8 "時" を合わせる

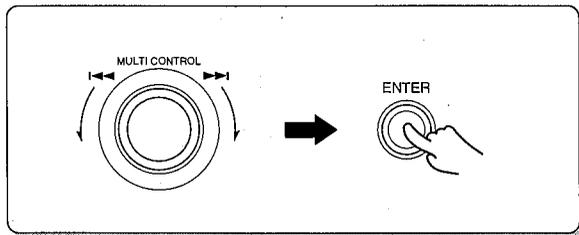


- 4 と 5 の操作を繰り返し "時" を合わせます。



- 時間はAM/PM付きの12時間表示です

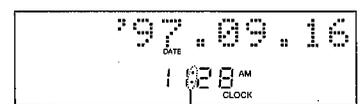
9 "分" を合わせる



- 4 と 5 の操作を繰り返し "分" を合わせます。



- 最後にENTERキーを押すと正しい時間表示となります。



点滅

日時を確認するには

タイマー/デリート

- TIMER/DELETE キーを押した後、日時が表示されるまでジョグダイヤルを回します。



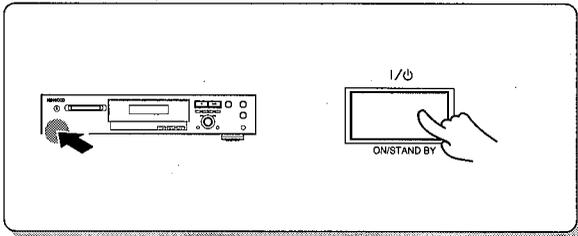
- 日付表示後約10秒でもとの表示に戻ります。

日時をセットし直すには

- 一度日時をセットした後は、2 の操作をしても "TIME ADJUST" の表示はできません。ジョグダイヤルで、日時を表示させて、日時を修正してください。
- 修正の必要が無い場合は、そのままENTERキーを押してください。

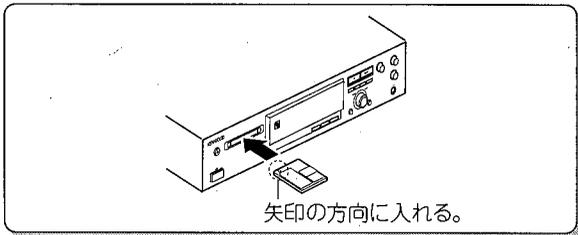
1曲目から順に聴く(リモコンでも操作できます)

1 電源を入れる



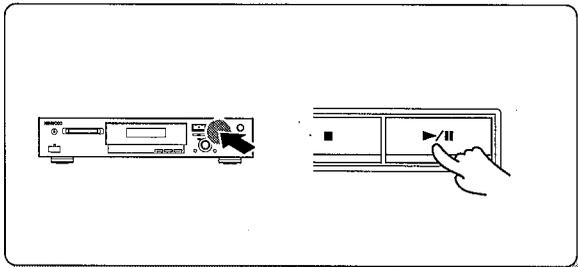
- 本体の^{オンスタンバイ}ON/STANDBY キーまたはリモコンの^{パワー}POWERキーを押して電源を入れます。

2 ミニディスクを入れる



- ミニディスクは矢印のある方向に、ラベル面を上にして入れます。
- カチッというまで、正しく入れます。

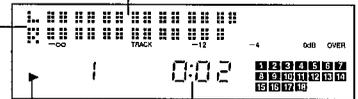
3 再生を始める



- ▶/|| キーを押すと再生が始まります。

曲名が右から左に移動して(スクロールといいます)曲名を表示します。

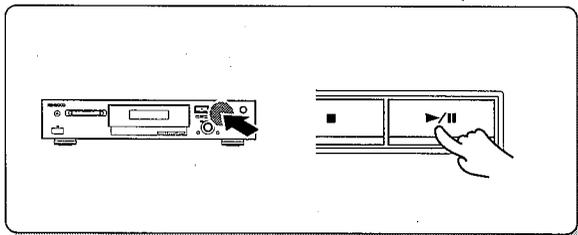
ステレオレベル表示の時
"L", "R"が表示されます。
モノラルのときは"M"が
表示されます。



再生表示 再生中の曲の経過時間表示

- 最後の曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生を一時停止するとき

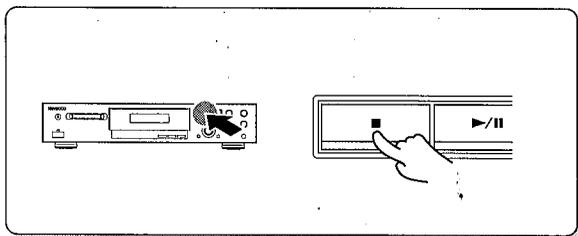


- 再生中に▶/|| キーを押すと一時停止します。
- もう一度押すと、一時停止した場所から再生が始まります。

一時停止表示

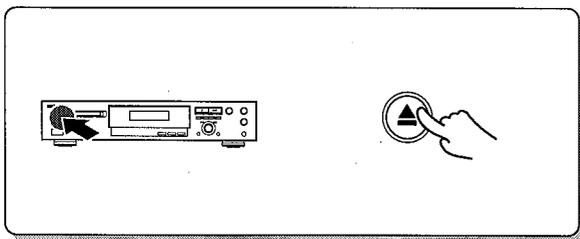


再生を停止するとき



- 再生の途中で止めるときは■キーを押します。

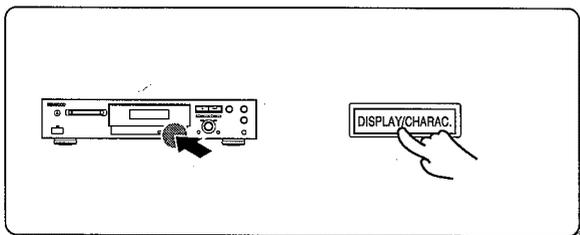
ミニディスクを取り出す



- 本体の▲キー、またはリモコンのEJECTキーを押します。
- ミニディスクが出てきます。

ミニディスクが本体にしばらくは入っていると暖かくなりますが、異常ではありません。

再生中に曲名や曲番、録音データなどを表示する



- 再生中、または一時停止中に本体のDISPLAY/CHARAC.キー、またはリモコンのDISPLAYキーを押します。
- キーを押すたびに表示が切り換わります。

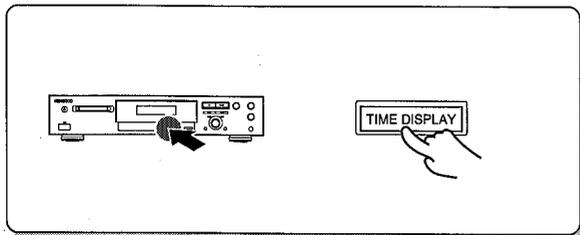
次のような場合はディスク名、曲名、または録音日時は表示しません。
 ディスク名や曲名が記録されていないディスク。
 録音日時が記録されていないディスク。

- 曲名表示
 (曲名が入っていないときは"NO NAME"と表示されます。
- 総曲数、残時間表示

 総曲数表示 録音残り時間表示
- 録音日時表示
- レベルメーター表示

再生中に再生時間を表示する

リモコンでも操作できます



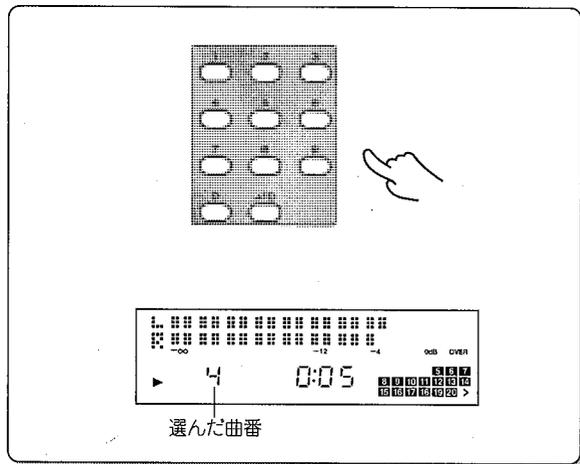
- 再生中、または一時停止中にTIME DISPLAYキーを押します
- キーを押すたびに表示が切り換わります。

- ▶
再生中の曲の経過時間
- ▶
再生中の曲の残り時間
- ▶
ディスクの残り時間

- 通常ミニディスクは振動が加わっても、音飛びしませんが、連続した振動が加わると、音飛びすることがあります。
- ミニディスクを聴いている近くにラジオやテレビがあると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。そのときはセットから離してください。

聴きたい曲を選ぶ

曲番で選ぶ(リモコン操作のみ)



- リモコンの数字キーを直接押します。
- 選んだ曲から再生が始まります。

10番から99番の曲を選ぶとき

[+10] キーを押した後、選ぶ数字を順に押します。

(例) 曲番28を選ぶとき

[+10]、[2]、[8] の順に押す。

100番以上の曲を選ぶとき

[+10] キーを2回押した後、選ぶ数字を順に押します。

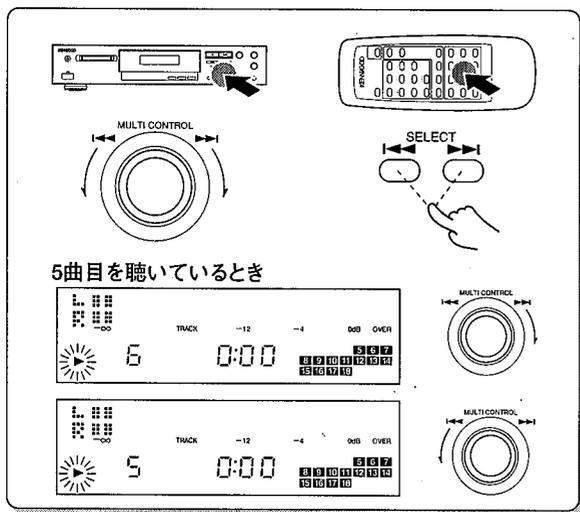
(例) 曲番105を選ぶとき

[+10]、[+10]、[1]、[0]、[5] の順に押す。



- 再生するディスクに入っていない曲番は選べません。
- 次のキーを操作するときは、5秒以内に操作してください。
- プログラム再生、ランダム再生中は直接数字キーで選ぶことはできません。

曲を飛び越して選ぶ(スキップ)



次の曲の頭に移るとき

- 再生中に : ジョグダイヤルを時計方向に回す
または、リモコンの▶▶I キーを押す。

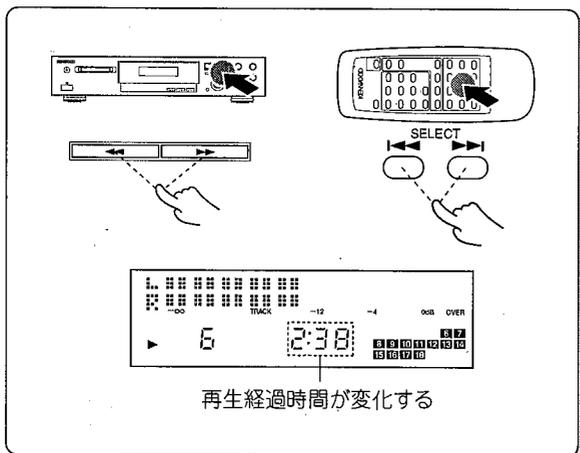
再生中の曲の頭に移るとき

- 再生中に : ジョグダイヤルを反時計方向に回す
または、リモコンのI◀◀ キーを押す。

停止中に操作すると

- 操作するたびに曲番が移動します。曲番を選んだ後、▶/|| キーを押してスタートさせます。

早送り・早戻しするには(サーチ)



- 本体の▶▶キーが、またはリモコンの▶▶I キーを押し続けると、早送りされます。
- 本体のI◀◀キーが、またはリモコンのI◀◀キーを押し続けると、早戻しされます。
- キーを離れたところから、通常の再生が始まります。



- 早戻しでディスクの頭まで来たときは通常再生が始まります。
- 早送りでディスクの最後まで来たときは "DISC END" と表示され、一時停止をします。

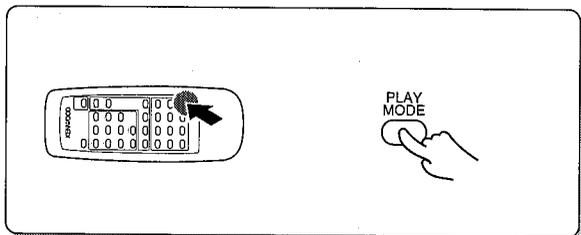
さらに早く探したいときは

- 一時停止中に操作をするとさらに早く移動します。この時、音は出ませんので、時間表示を参考にしてください。
- 手を離れた所で一時停止になります。

繰り返し聴く/順不同に聴く(リモコン操作のみ)

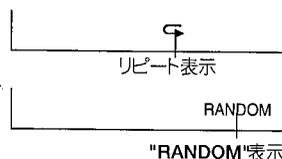
ディスク全体を繰り返し再生したり(リピートプレイ)、順不同に再生する(ランダムプレイ)ことができます。また、曲をプログラムしておくプログラムした曲だけを繰り返し再生することができます。

1 プレイモード PLAY MODE キーを押す

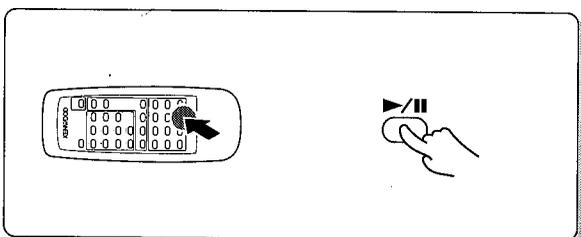


● 押すたびに下のように切り換わります。

- ① リピートプレイ
- ② ランダムプレイ
- ③ 通常再生

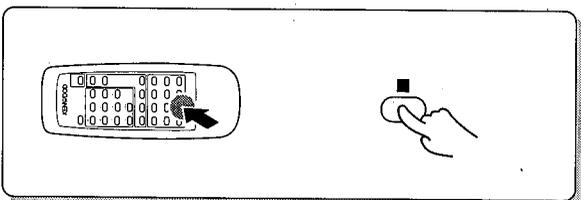


2 ▶|| キーを押し、再生を始める



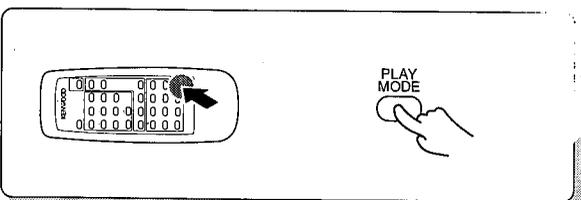
● ランダムプレイで、ディスクの全曲を再生し終わると自動的に停止します。

リピート/ランダム再生を止めるには



● ■ キーを押して、停止させます。

リピート/ランダム再生解除するには



● □ PLAY MODE キーを押し、" "または"^{ランダム}"RANDOM"表示を消します。

● リピートプレイ/ランダムプレイはミニディスクを取り出しても解除されます。

選んだ曲だけを繰り返し再生するには

- 聴きたい曲をプログラムして、リピートプレイをします。
(プログラムのしかた → 22)
- 1曲だけプログラムして、リピートプレイをすることもできます。(1曲リピートプレイ)

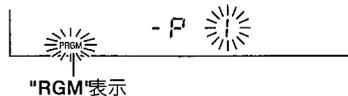
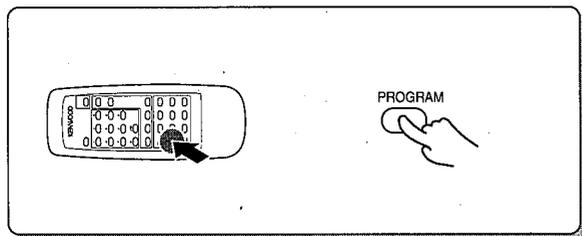


プログラム再生中にランダムプレイはできません。

曲順を自由にプログラムする(リモコン操作のみ)

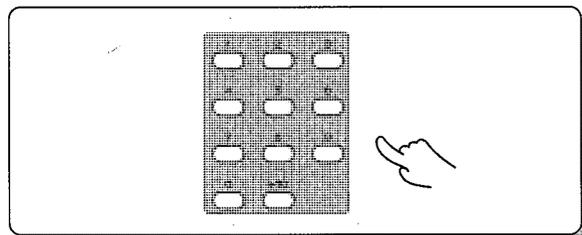
好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。

1 停止中に **PROGRAM** キーを押す

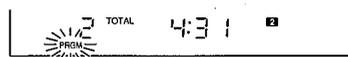


プログラムの設定や解除は、再生中、または一時停止中ではできません。

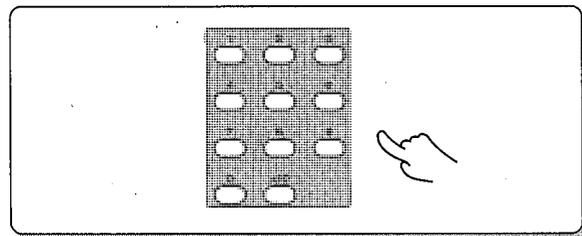
2 聴きたい曲番を選ぶ



- リモコンの数字キーでプログラムしたい曲番を選びます。



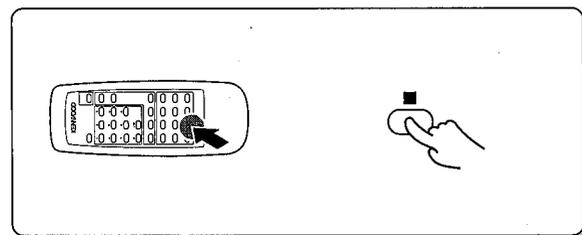
3 繰り返し曲番を選ぶ



- 2 の操作を繰り返し、順にプログラムを入力します。

- 20 曲までプログラムできます。
- プログラムした総再生時間が **199 分 59 秒** を越えた場合は " - : - " の表示になります。この場合でも、プログラムは続けてセットできます。

4 ■ キーを押す

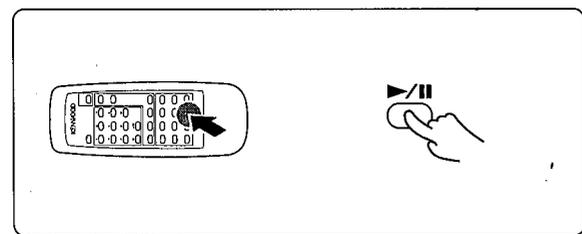


- すべての曲を選び終わったら、■ キーを押します。



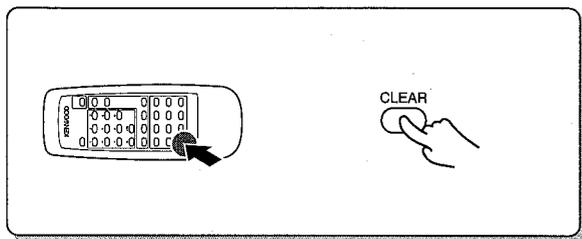
プログラムされた総再生時間
プログラムされた総曲数 プログラムされた曲数

5 再生する

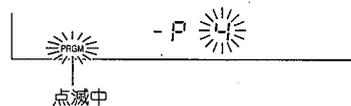


- プログラムされたすべての曲を再生し終わると、自動的に停止します。

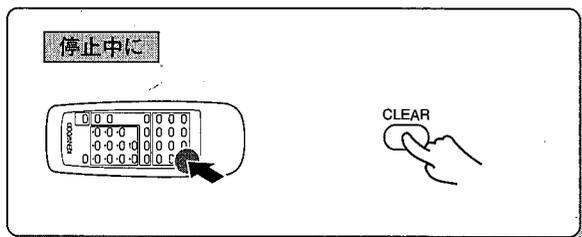
プログラムした曲を1曲ずつ取り消すには



- プログラム "PRGM"が点滅しているとき(プログラム設定中)にCLEAR キーを押すと、押すごとに最後にセットされた曲から取り消されます。



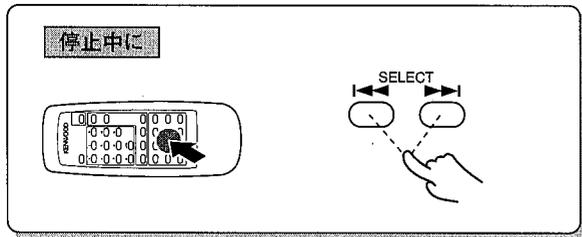
プログラムをすべて取り消すには



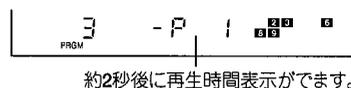
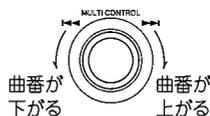
- プログラムモードの停止中にCLEARキーを押すとプログラムが取り消されます。
- ミニディスクを取り出すか、または録音モードにしてもプログラムは取り消されます。



プログラムした曲順を確かめるには



- プログラムモードの停止中に◀◀キーまたは▶▶キーを押すとプログラムされた曲番が表示されます。
- 本体のジョグダイヤルを回しても表示できます。



プログラムに曲を追加するには

プログラムモードのとき("PRGM"点灯中)、**1** から **4** の操作で、プログラムを追加することができます。

- 追加した曲はすでにプログラムされた曲の後に追加されます。



すでにプログラムされた曲と曲の間に追加することはできません。

MD録音の特徴

テープ録音との違い

未録音部分を探す必要はありません。

録音できる場所を自動的にさがして、そこから録音が始まります。

録音済みの時間や、残り時間を知ることができます。

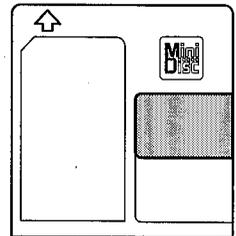
残り時間を確認できるため、最後の曲の途中で切れることの無いよう録音を計画することができます。

録音日時が自動的に記録されます。

録音日時の記録をセットしておくことで自動的に、録音された日付と時間が記録されます。

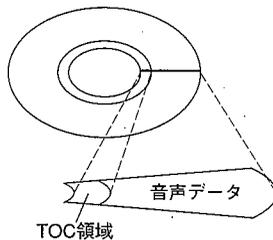
MDの裏面に録音することはできません。

MDはテープと異なり裏返して録音することはできません。



トラック TOCについて

ミニディスクは音声を録音するエリアと、曲番や、曲名ディスク名などを記録したTOCと呼ばれるエリアがあります。



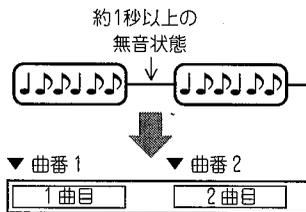
- ミニディスクに録音をすると、録音の情報（TOC: Table of Contents）が記録されます。TOCは再生時に無くてはならないものです。TOCを書き換えることにより、曲の編集をすることができます。
- 録音をした後、電源を切ると、TOC情報が書き換えられます。そのため、ON/STAND BY キーを押した後は衝撃を与えないでください。TOCが正常に記録されないと、正常な再生ができなくなります。

オートマーク機能について

アナログ接続による録音のとき

アナログ接続による録音のとき、約1秒の無録音部分を検出して自動的に曲番を記録します。この機能をオートマーク機能と呼びます。

曲番を付けると、瞬時に曲の頭に移動することができます。

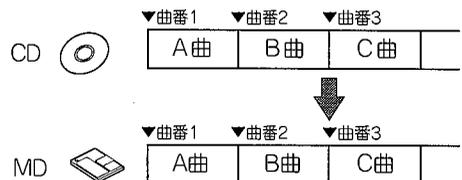


- オートマーク機能を使わずに、ひとつづきの曲として録音することもできます。

p30と見よ

デジタル接続による録音のとき

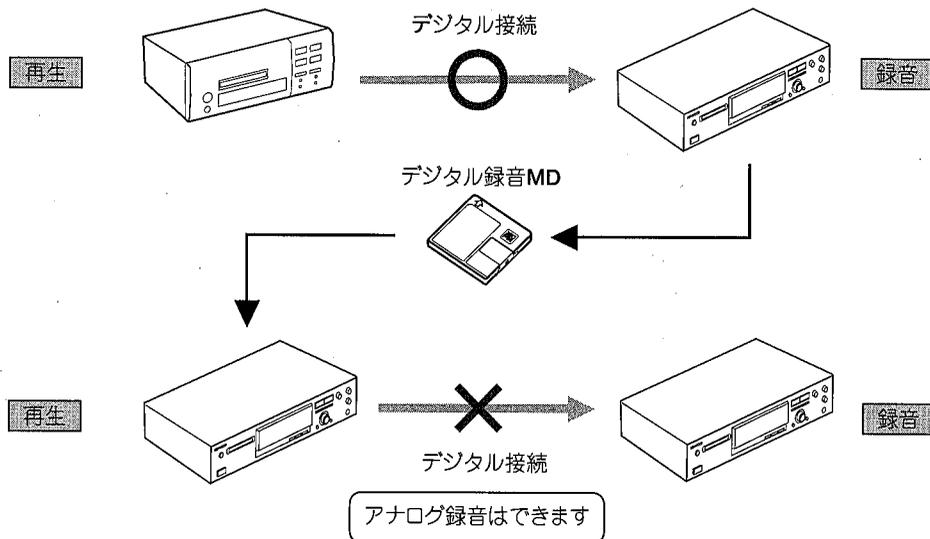
CDや、他のMDから録音するときは、元の曲番と同じ曲番が自動的に付きます。(シンクロマーカークラクション)



- CDから録音したとき、元の曲番と合わないことがあります。
- DATなどのようなデジタル機器から録音したとき、シンクロマーカークラクションは働きません。アナログ録音と同様な、オートマーク機能により曲番が付きます。
- DATから録音しているときに、DATモードが切り換わるときに曲番が換わります。この時、ごく希に雑音が入るときがあります。この場合、編集作業で取り除くことができます。

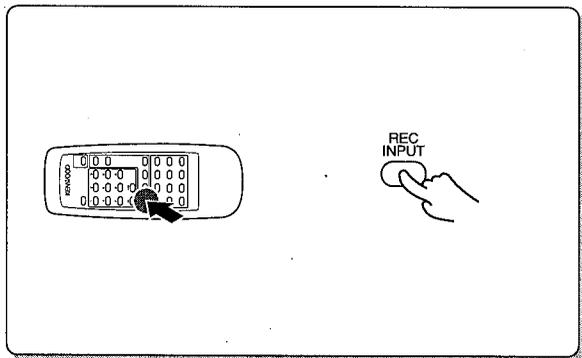
デジタルコピーするときは

ミニディスクは、著作権保護のため、デジタルコピーを重ねることができないように設計されています。
シリアルコピーマネージメントシステム
 この規定をSCMS (Serial Copy Management System) といいます。

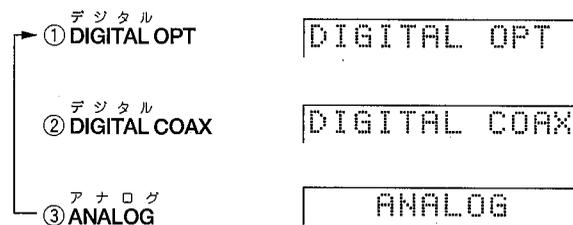


録音する入力の選びかた

レック インプット
リモコンの REC INPUT キーを押す



押すたびに入力が切り換わります。



文字情報表示部に入力モードを1.5秒間表示します。その後、通常表示に戻ります。

重要な録音をするときはあらかじめテスト録音をして確かめておきましょう



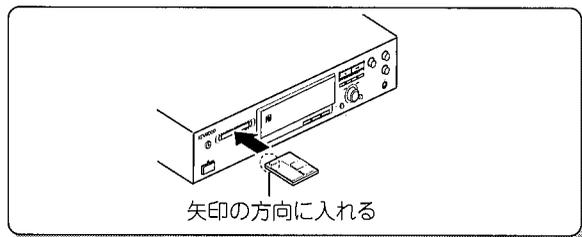
次のような場合は録音できません

- 再生専用MD (市販の音楽ソフトなど) に録音しようとしたとき。
- MDが誤消去防止状態になっているとき。
- 録音できる時間が残っていないとき。 ("DISC FULL" の表示)
- "TOC FULL" の表示が出たとき。
- MDのTOC部が壊れているとき。
- デジタルコピーしたものを、さらにデジタルコピーしようとした時。(SCMS規定)

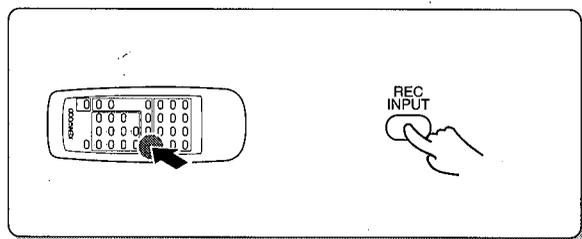
サウンドシンクロ録音をする

CDやMDの録音をするときに、サウンドシンクロ録音をすると、CDなどをスタートさせると、自動的に本機の録音が始まります。

1 録音用MD^{ミニディスク}をセットする



2 入力を選ぶ

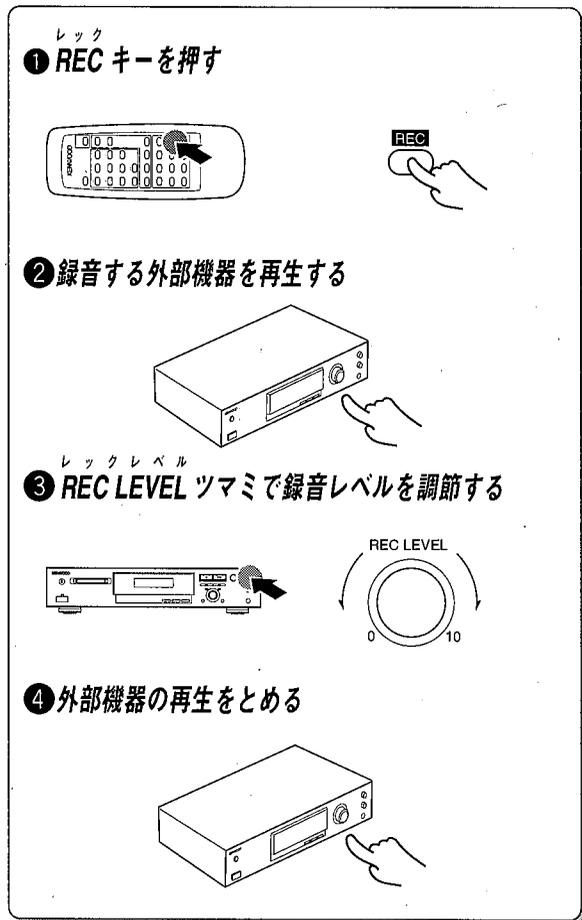


- リモコンのREC INPUTキーを押して外部に接続した入力を選びます。



- デジタル接続の場合は 4 に進みます。

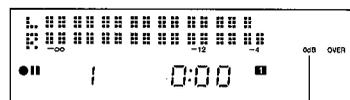
3 録音レベルを調整する (アナログ入力の時のみ)



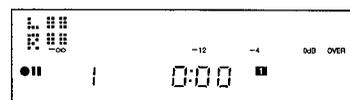
- 録音待機(一時停止)状態になります。

- 録音するテープやCDなどを再生する。

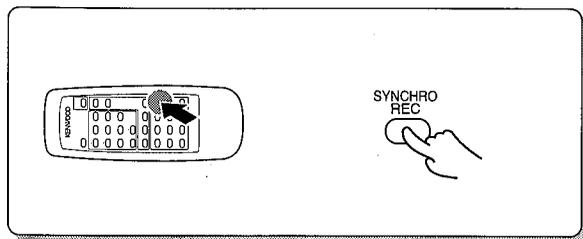
- 本体のREC LEVELツマミで録音レベルを調整します。
- 録音レベルは0dBを越えないように調整します。



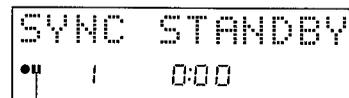
0dB表示



4 シンクロレック リモコンのSYNCHRO RECキーを押す

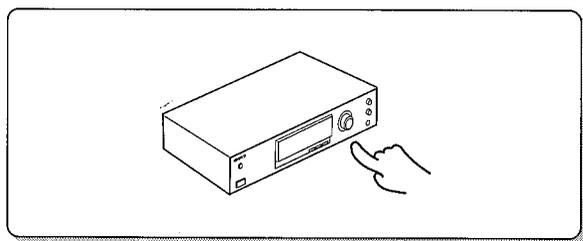


- 録音待機(一時停止)状態になります。



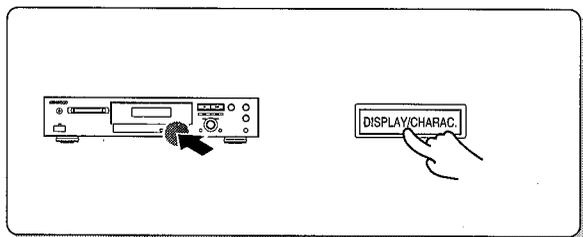
一時停止表示

5 録音する外部機器を再生する

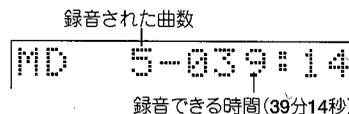


- 外部機器をスタートすると、本機が自動的に録音開始します。
- 外部機器の再生が終わると、本機は一時停止状態になります。
- 録音を終えるときは■キーを押します。

録音できる残り時間を知るには



- 録音するミニディスクを入れ、ディスプレイキャラクター DISPLAY/CHARACTER キーを押します。



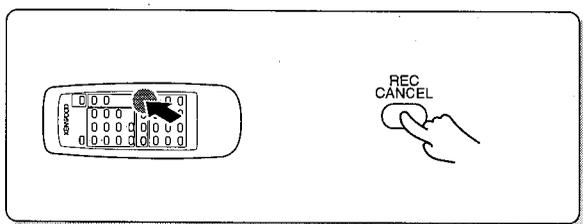
スペースカット機能について

サウンドシンクロ録音中に、再生音に3秒以上の無音部分があると本機は自動的に録音一時停止状態になります。("REC STANDBY"表示)。

再び再生音が入ると自動的に録音が始まります。このとき、約3秒の無音部分が作られます。

- もとの音の曲間に、雑音が入っているときは、サウンドシンクロ録音機能や、スペースカット機能は働きません。マニュアル録音 (→ [28]) をしてください。
- 録音する曲などに3秒間以上の小さな音が入っていて、その部分も録音する必要があるときは、マニュアル録音 (→ [28]) をしてください。

録音の取り消しをするには (レックキャンセル) REC CANCEL



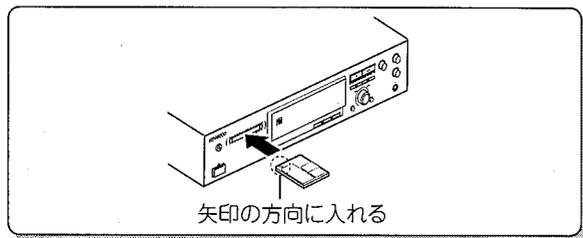
サウンドシンクロ録音中、またはオートマーカーON (→ [29]、→ [30]) のノーマル録音状のとき操作できます。

- 録音中に、REC CANCEL キーを押すとその曲の録音内容を消去して、録音一時停止状態になります。再度サウンドシンクロ録音をするにはリモコンのSYNCHRO REC キーを押してください。
- 録音を終えるときは■キーを押してください。

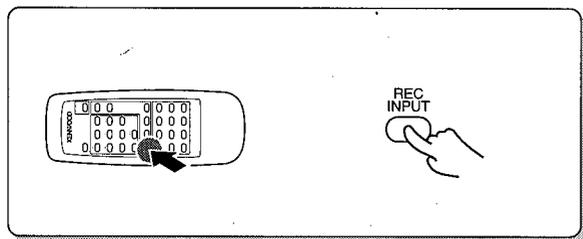
マニュアル録音をする

チューナーからの録音など、録音の開始を手動するときの操作です。

1 録音用MDをセットする



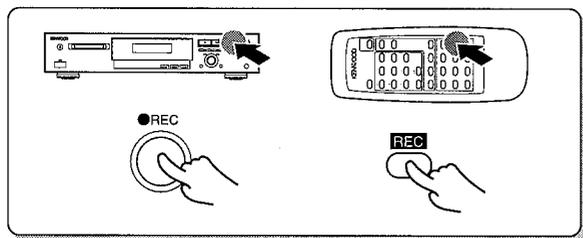
2 入力を選ぶ



- リモコンの レックインプット REC INPUT キーを押して外部に接続した入力を選びます。



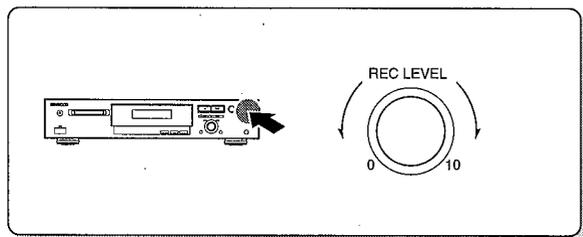
3 レック REC キーを押す



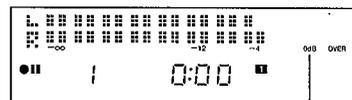
録音待機(一時停止)状態になります。

- デジタル接続の場合は 5 に進みます。

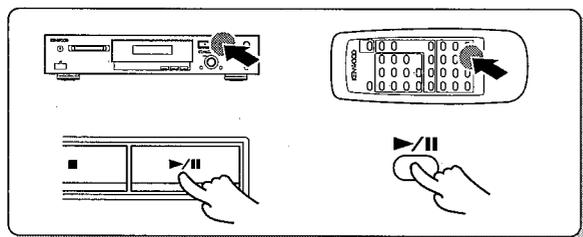
4 録音レベルを調整する (アナログ入力の時のみ)



- 録音するテープやCDなどを再生して、本体の レックレベル REC LEVEL ツマミで録音レベルを調整します。
- 録音レベルは 0dB を越えないように調整します。



5 ▶|| キーを押し、録音を開始する

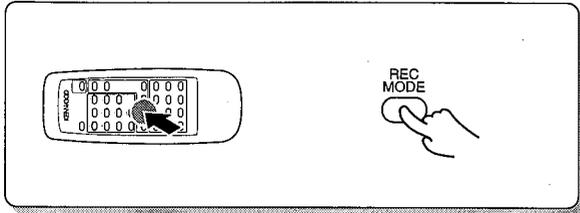


- 外部機器をスタートして、本機の▶|| キーを押します。
- 録音を終えるときは■キーを押してください。

モノラルで長時間録音をするには(リモコン操作のみ)

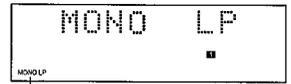
モノラル録音のとき、モノラル長時間録音モードで録音すると、ステレオで録音する場合の約2倍の時間を録音することができます。会議の録音などに便利です。

ロックモード REC MODE キーを押す



- 押すたびにモードが切り換わります。

①モノラル長時間モード



"MONO LP"点灯

② 通常モード



"MONO LP"消灯

このモードは録音中は切り換えられません。

録音モードは次に切り換えるまで記憶されています。
(モノラル長時間録音が終了したときは、通常モードに切り換えておくことをおすすめします。)

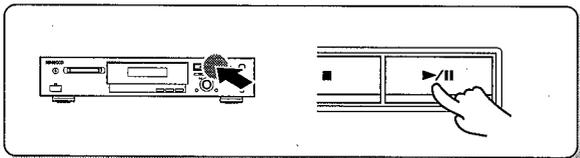
録音をやり直すとき(リモコンでも操作できます)

録音されているディスクの途中から録音し直すことができます。

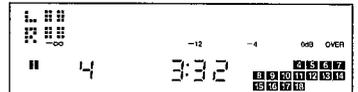
録音をし直すと新しく録音した部分以降のもの曲や、曲名はすべて消えて、新しくなります。ディスクの途中や、終わりの方にある消したくない曲は、あらかじめ「ムーブ機能(→35)」で前に移動してから録音し直しをしてください。

ディスク全体を録音し直すときは「オールイレース機能(→36)」ですべて消去してから、録音すると、通常の録音ができます。

1 再生中に▶/|| キーを押す

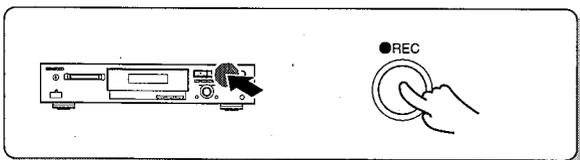


- 録音し直したい部分を再生して、▶/|| キーを押します。
- 再生一時停止状態になります。

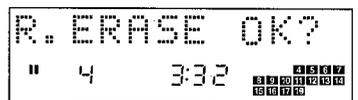


(4曲目の3分32秒から録音開始するときの例)

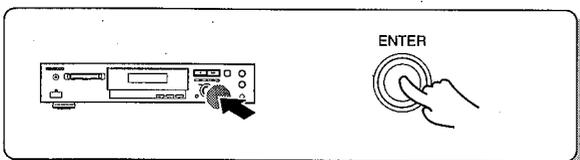
2 REC キーを押す



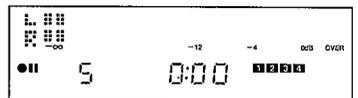
- 操作を取り消すときは■キーを押します。



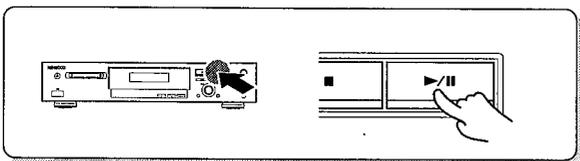
3 エンター ENTER キーを押す



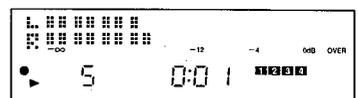
- 録音一時停止状態になります。



4 ▶/|| キーを押す



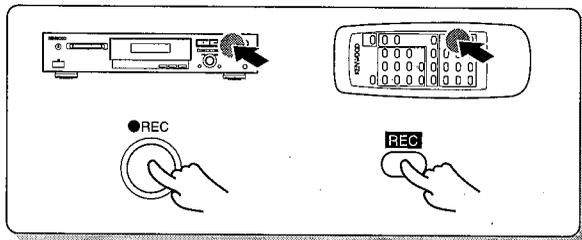
- 録音が始まります。



録音中に好きなところに曲番をつけるとき

録音中に好きなところに曲番を付けることにより、後から簡単に探し出すことができます。曲番は、アナログ接続でも、デジタル接続でも付けることができます。

曲番を付けたいところで^{レック}RECキーを押す



曲番が1つふえて、録音が続きます。

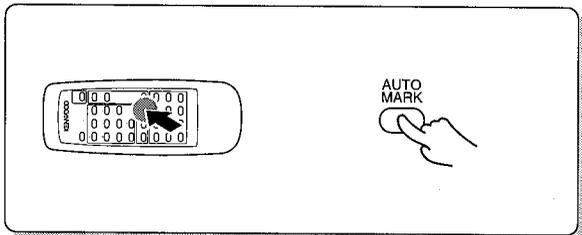


エディット機能を使うと、録音された曲番の変更などをすることができます。

曲番を付けずに1つの曲として録音するには(リモコン操作のみ)

アナログ録音のとき、オートマーク機能(→24)を使わずに、ひとつづきの曲として、録音することができます。

1 録音待機中に^{オートマーク}AUTO MARKキーを押す



●押すたびにオートマーク オン/オフが切り換わります。

→ 24

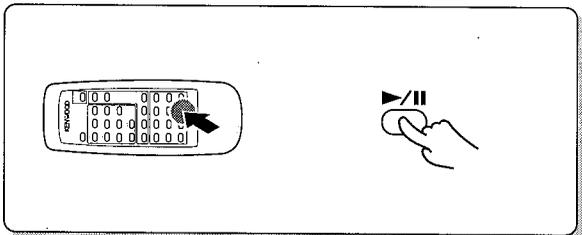
オートマークオフ
"A.MARK OFF"

A. MARK OFF

オートマークオン
"A.MARK ON"

A. MARK ON

2 ▶/|| キーを押す



●録音が始まります。



CDや、MDからのデジタル接続による録音の時は、オートマーク機能の設定に関係なく自動的に曲番が付けられます。

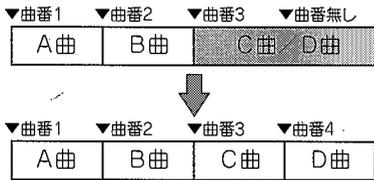
録音したミニディスクをいろいろな編集機能で、オリジナルディスクに編集することができます。
再生専用ミニディスクは編集できません。

こんな編集ができます

曲を分ける ^{ディバイド} (DIVIDE 機能) → 33

1つの曲を途中で分けたり、曲番のない曲に曲番を追加したりすることができます。

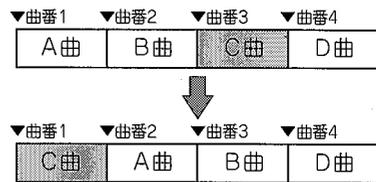
- 曲の途中や、会議の録音など好きな所で、頭出しをしたとき。
- ライブ録音などで曲と曲の間に曲番が付かなかったときなどに使用します。



曲を移動する ^{ムーブ} (MOVE 機能) → 35

指定した曲を、希望する位置に移動できます。移動した曲番はMDに記録されるため、電源を切っても変わりません。

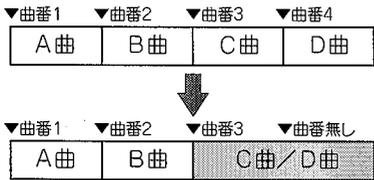
移動した位置以降の曲番は、自動的に変更されます。



連続した2つの曲をつなぐ ^{コンバイン} (COMBINE 機能) → 34

連続する2つの曲を1つにまとめたり、1つの曲に曲番が2つ付いてしまった場合の修正などができます。

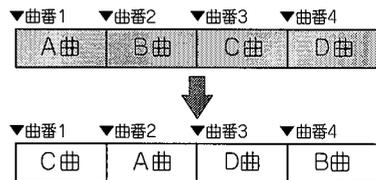
- クラシック音楽の録音などで、曲の途中で非常に小さい音の部分があって、曲番が付いてしまったときなどの修正などに使用します。



プログラムして一度に移動する ^{プログラムドムーフ} (PROGRAMMED MOVE 機能) → 36

プログラム再生機能を使ってプログラムした曲順に並べ替えて、一度に移動することができます。

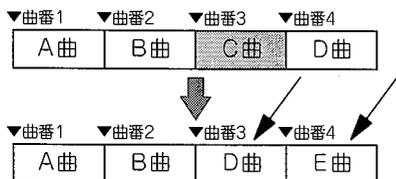
(プログラムに含まれない曲の曲番は、プログラムされた曲の、後になります。)



曲を消す ^{イレーズ/オールイレーズ} (ERASE/ALL ERASE 機能) → 37

消したい曲を1曲ずつ、(ERASE)、または全曲一度に (ALL ERASE) 消すことができます。

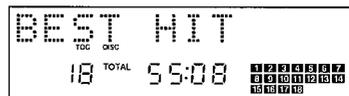
- 一度消すともとに戻りませんので良く確かめてから消去してください。



ディスク名や曲名をつける ^{ディスクネーム/トラックネーム} (DISC NAME/TR NAME 機能) → 39

録音したMDに、ディスク名や、曲名を付けることができます。

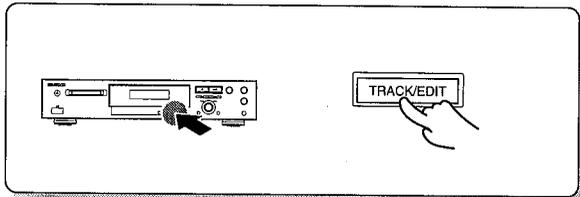
- アルファベットの大文字、小文字、記号、カタカナを使うことができます。
- 一つのディスク名や、曲名に100文字入力することができます。



編集機能の選びかた

エディット機能は、エディットメニューから下の手順で選択します。

1 ^{トラック/エディット} TRACK/EDIT キーを押す

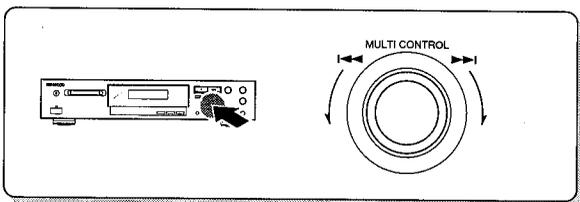


(操作例)

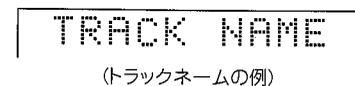
- キーを押すと編集の種類が表示されます。



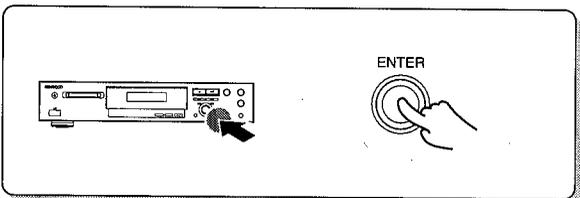
2 エディットメニューを選ぶ



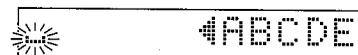
- ジョグダイヤルを回すと編集の種類が変わります。



3 ^{エンター} ENTER キーを押す



- 選んだ機能の編集が可能になります。



- 操作の途中で中止するときは■キーをおします。

現在の状態と、そのとき選べる編集機能

エディット機能は現在の状態で、選べる機能が下の表のようになります。

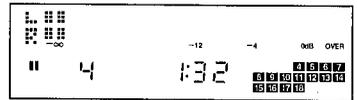
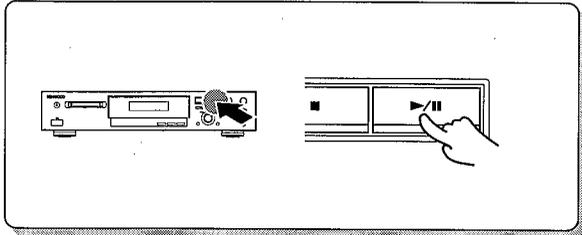
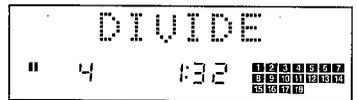
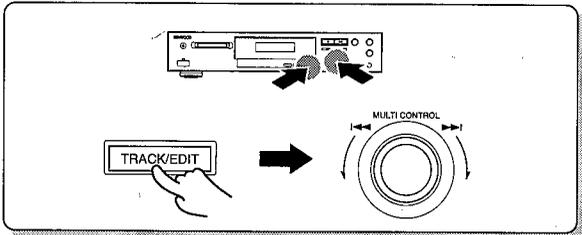
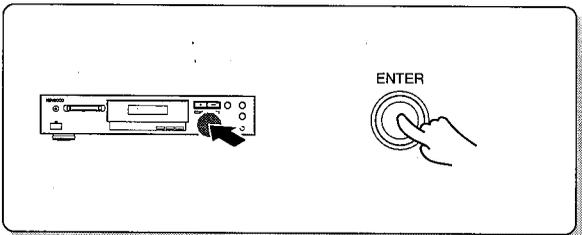
現在の機能	選べる編集機能					
	停止中 (総曲数/総時間 表示)	停止中 (曲番選択中)	再生中	再生 一時停止中	録音中 録音待機中	プログラムモード
ディスクネーム機能	○	×	×	×	×	×
トラックネーム機能	×	○	○	○	○	×
ディバイド機能	×	×	×	○	×	×
コンバイン機能	×	○	×	○	×	×
ムーブ機能	×	○	×	○	×	×
プログラムムーブ機能	×	×	×	×	×	○
イレース機能	×	○	×	○	×	×
オールイレース機能	○	×	×	×	×	×

ディバイド

曲を分ける (DIVIDE機能)

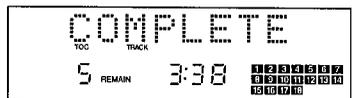
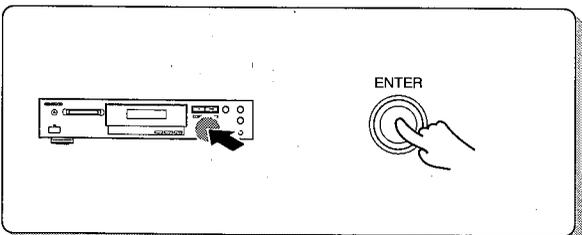
一つの曲を、好きなところで2つに分けることができます。

1 再生中に分けたいところで一時停止する

2 ^{トラック/エディット} TRACK/EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで、"DIVIDE" を選ぶ3 ^{エンター} ENTER キーを押す

- 10秒以内にENTERキーを押します。

- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

4 ^{エンター} もう一度 ENTER キーを押す

- 曲が分けられて、うしろの曲の頭で一時停止します。
- 分けた曲以降の曲番は1つずつ下がります。
- 曲名が付いていたときは、分けた両方の曲に同じ曲名と録音日時が付きます。

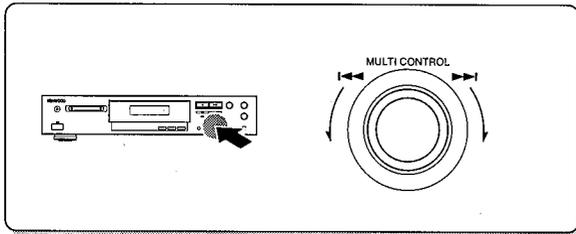


- 本機は最大255曲まで曲を分けることができますが、曲数が最大に満たなくても、曲を分けることができなくなることがあります。(TOC FULL → [48])
- また、曲名などを記録する領域がいっぱいの時は、後ろの曲名が付かないことがあります。(TOC FULL → [48])
- プログラムモード ("PRGM" が点灯 → [22]) の時、またはランダムモード ("RANDOM" が点灯 → [21]) の時は、DIVIDE機能が働きません。プログラムモード、ランダムモードを解除してから、曲を分けてください。

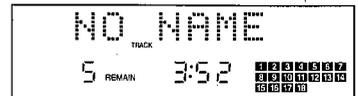
コンバイン 曲をつなぐ(COMBINE機能)

連続した2つの曲を、1つの曲にまとめることができます。

1 2つの曲の後ろの曲を選ぶ



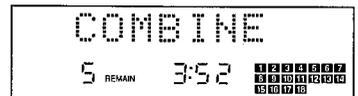
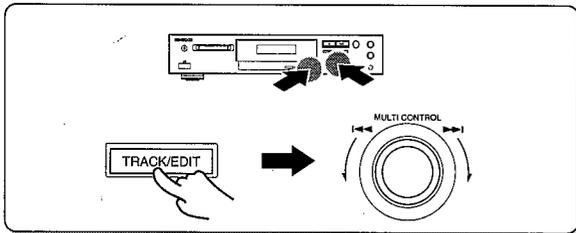
- 停止中にジョグダイヤルで選ぶか、または、再生中にスキップ選曲をして、一時停止させます。
- つなぐ2つの曲の後ろの曲を選びます。



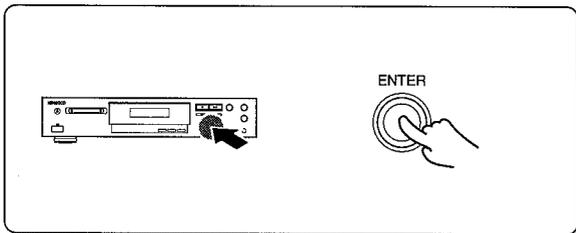
(4曲目と5曲目をつなぐとき)

トラック/エディット

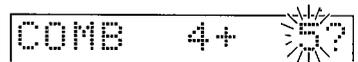
2 TRACK/EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで、"COMBINE" を選ぶ



3 エンター ENTER キーを押す

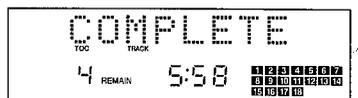
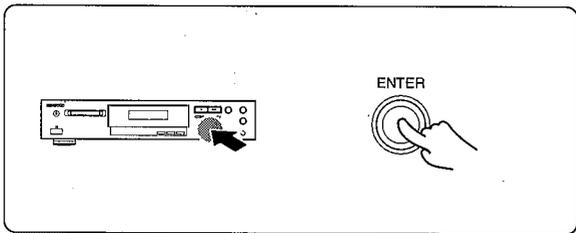


- 10秒以内にENTERキーを押します。



- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

4 エンター もう一度 ENTER キーを押す



- 曲がつながり、曲の頭で一時停止します。
- 以降の曲番は1つずつ上がります。

■ 離れた2つの曲をつなぐとき

(例:最初の曲と、3番目の曲をつなぐとき)

- 1) 3番目の曲をMOVE機能を使って、2番目に移動する
- 2) 最初の曲と、2番目の曲をCOMBINE機能を使って、つなぐ。

- 前の曲のみ、曲名が付いていたときは：
→前の曲の曲名になります。
- 後の曲のみ、曲名が付いていたときは：
→後の曲名が付きます。
- 両方の曲に曲名が付いていたときは：
→前の曲の曲名になります。



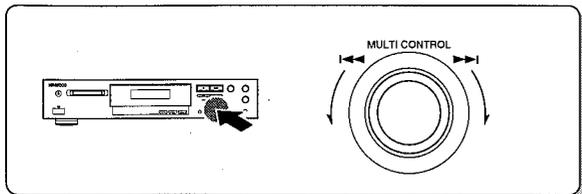
次の場合は曲をつなぐことができません。

- モノラル長時間モードで録音した曲と、ステレオ録音した曲。
- デジタル接続で録音した曲と、アナログ接続で録音した曲。
- 15秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

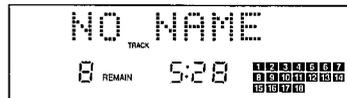
ムーブ 曲を移動する(MOVE機能)

指定した曲を、希望の位置に移動することができます。

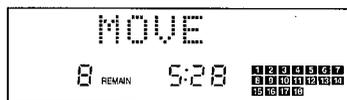
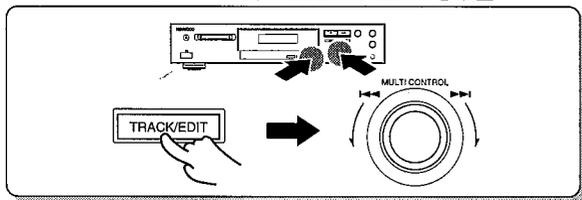
1 移動したい曲を選ぶ



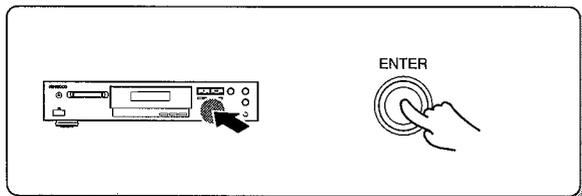
- 停止中にジョグダイヤルで選ぶか、または、再生中にスキップ選曲をして、一時停止させます。



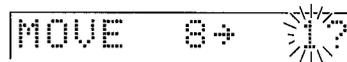
2 TRACK/EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで、"MOVE" を選ぶ



3 ENTER キーを押す

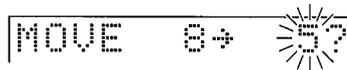
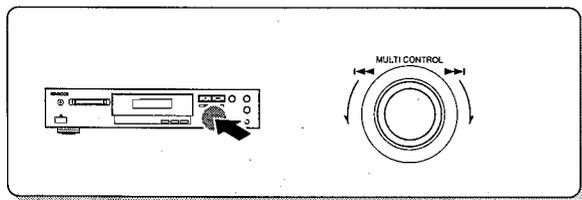


- 10秒以内にENTERキーを押します。

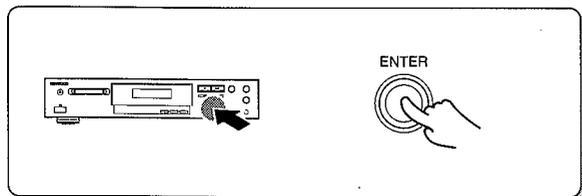


- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

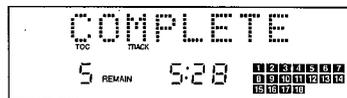
4 移動先を選ぶ



5 ENTER キーを押す



- 曲が移動して、その曲の頭で一時停止します。



- 移動した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番になります。
 (例)5番目の曲を3番目に移動したとき:
 →前の3曲目は新しい4曲目に、前の4曲目は新しい5曲目になります。

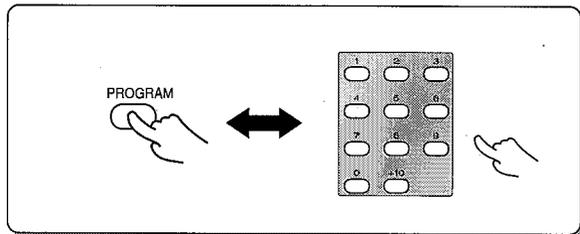
● プログラムモード ("PRGM" が点灯 → 22) の時、またはランダムモード ("RANDOM" が点灯 → 21) の時は、MOVE 機能が働きません。プログラムモード、ランダムモードを解除してから、曲を移動してください。

プログラムドムープ

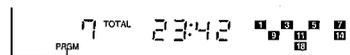
曲をプログラムして移動する (PROGRAMMED MOVE機能)

曲をプログラムして、一度に移動することができます。

1 移動したい曲をプログラムする (→ 22)

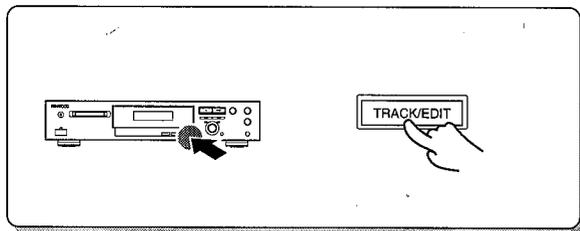


移動したい曲をならべたい順にプログラムします。

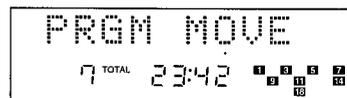


"PRGM"が点灯します。

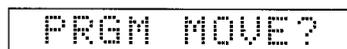
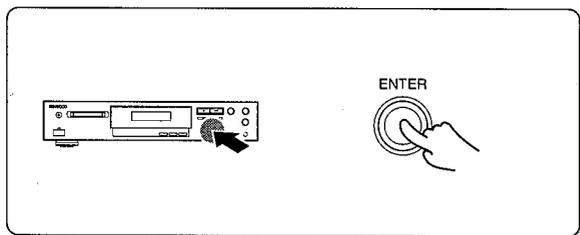
2 "PRGM" が点灯しているのを確認して、^{トラック/エディット}TRACK/EDIT キーを押す



- "PRGM MOVE" が表示されます。

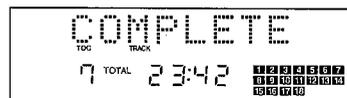
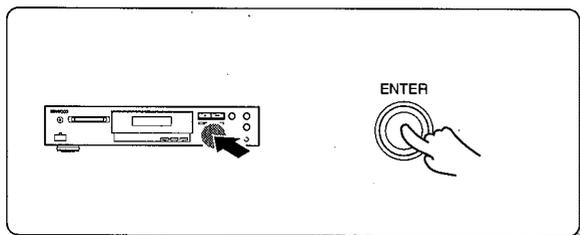


3 ^{エンター}ENTER キーを押す



- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

4 ^{エンター}もう一度ENTER キーを押す



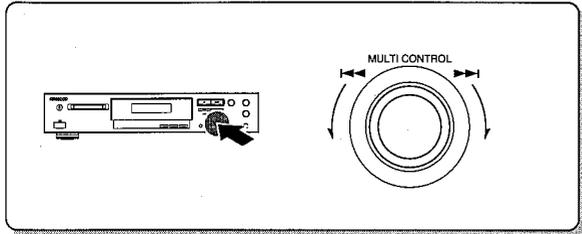
- 曲が移動して、PROGRAMMED MOVE機能が終了します。
- プログラムしていない曲は、プログラムされた曲の後に移動します。
- 同じ曲が2回以上プログラムされているときは最後にプログラムされた、曲順が優先されます。

イレース 1曲ずつ曲を消す (ERASE機能)

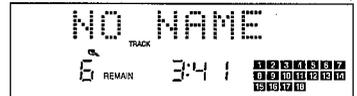
曲を1曲ずつ消すときの操作です。

- すべての曲を消すときはALL ERASE(オールイレース) (次ページ)の操作をします。

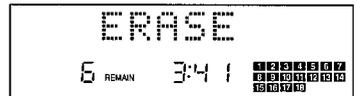
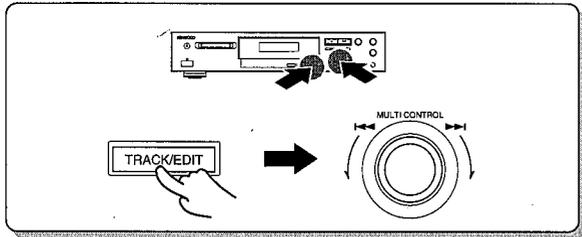
1 消したい曲を選ぶ



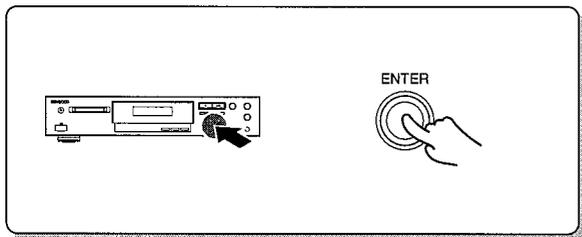
- 停止中にジョグダイヤルで選ぶか、または、再生中にスキップ選曲をして、一時停止させます。



トラック/エディット 2 TRACK/EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで、"ERASE" を選ぶ

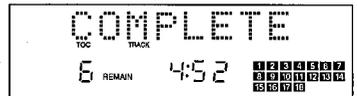
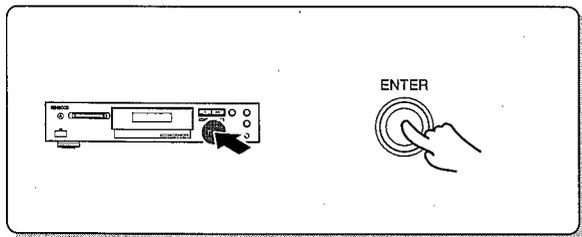


エンター 3 ENTER キーを押す



- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

エンター 4 もう一度 ENTER キーを押す



- 曲が消されて、後ろの曲の頭で、一時停止状態になります。最後の曲の時は、1曲目の頭で停止します。
- 以降の曲番は1つずつ繰り上がります。
- 曲が消されたときは曲名も同時に消されます。



消した曲はもとに戻りません。よく確かめて操作をしてください。

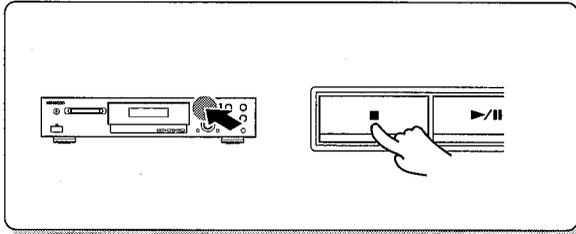
オール イレース

すべての曲を消す (ALL ERASE機能)

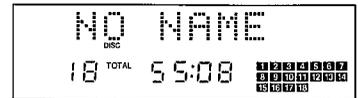
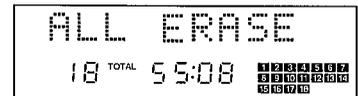
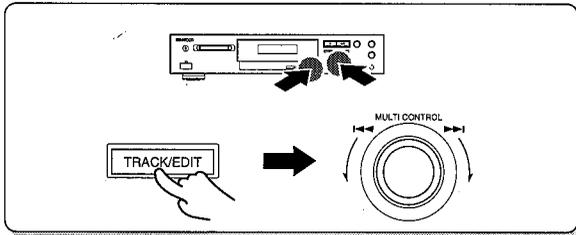
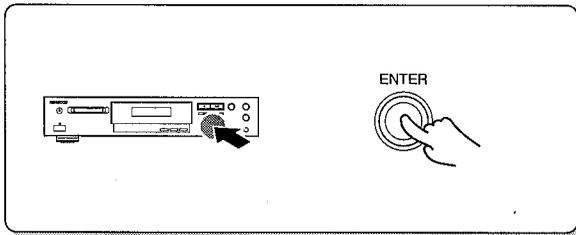
ディスク内のすべての曲を消すときの操作です。

- 1曲ずつ消すときはERASE(イレース) (前ページ)の操作をします。

1 停止状態にする



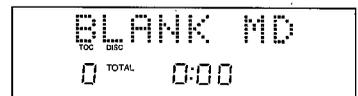
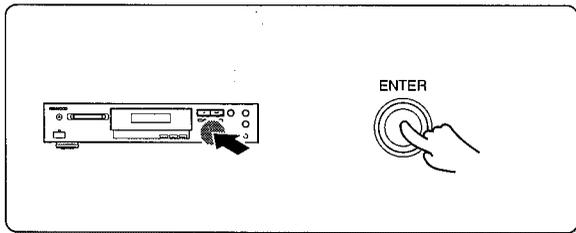
- 停止状態にします。(総曲数表示、総再生時間表示にします。)

2 ^{トラック/エディット} TRACK/EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで、"ALL ERASE" を選ぶ3 ^{エンター} ENTER キーを押す

- 10秒以内にENTERキーを押します。



- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

4 ^{エンター} もう一度 ENTER キーを押す

- すべての曲が消されて、曲番と、曲名もすべて消されます。



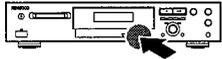
- 消した曲はもとに戻りません。よく確かめて操作をしてください。

- プログラムモード ("PRGM" が点灯 → 22) の時、またはランダムモード ("RANDOM" が点灯 → 21) の時は、この機能は働きません。プログラムモード、ランダムモードを解除してから、消去の操作してください。

ディスク名や曲名を付ける(文字の入力方法)

1枚のディスクにディスク名と255曲までの曲名を付けることができます。
ディスク名や、曲名をを付けるとき、文字入力は、下の手順で行います。

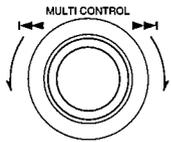
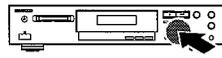
文字の種類を選ぶには



- ① ^{トラック} TRACK/^{エディット}EDIT キーを押し、^{ディスク} "DISC NAME"または^{トラック} "TRACK NAME"を表示させます。
- ② ^{エンター} ENTERキーを押します。
- ③ ^{ディスプレイ} DISPLAY/^{キャラクター}CHARAC. キーを押します。押すごとに文字の種類が切り換わります。

- | | |
|---------|-------|
| ① カタカナ | アイウエオ |
| ② 英語大文字 | ABCDE |
| ③ 英語小文字 | abcde |
| ④ 数字/記号 | 12345 |

文字を選ぶには

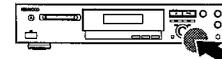


- ツマミを回すと文字上のカーソル(■)が移動します。

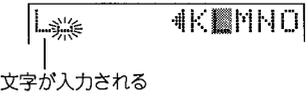


カーソルが右はじまで来ると次の5文字が表示されます。
カーソルを動かして、望みの文字を選びます。

文字を入れるには



- 文字を選んでENTERキーを押すと、表示部に選んだ文字が入ります。



選んだ文字が入力される

上の操作を繰り返し文字を入力していきます。

使える文字の種類 表の文字が使えます

文字の種類	文字の一覧
カタカナ	アイウエオカキクケコ ---- ラリルレロ ワヅンアイウエオヤユヨツ * - /
英語大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , / " ' # \$
英語小文字	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , / " ' # \$
数字記号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ! " # \$ % & ' ()) * + , - . / : ; < = > ? @ - _

入力できる文字数について

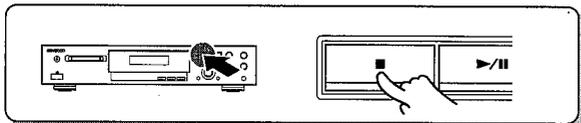
- カタカナはアイウエオ順で、大文字の後小文字(アイウエオヤユツ)となります。
- ディスクタイトル、曲名とも最大100文字(スペースを含む)まで付けることができます。
- 1枚のMDにディスクタイトルと曲名を合わせて約1700文字まで入れられます。1700文字以上になると"TOC FULL 1"の表示が出ます。

*□:スペース

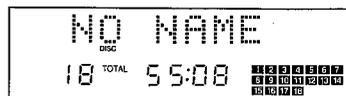
ディスク名を付ける (DISC NAME機能)

MDに名前を付けることができます。ディスク名が付いているMDを本機にセットすると表示部にディスク名が表示されます。

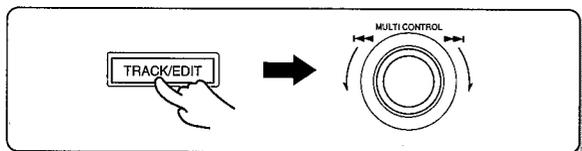
1 停止させる



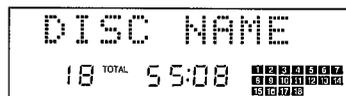
- ■キーを押して停止させる。
- 総曲数、総再生時間表示になります。



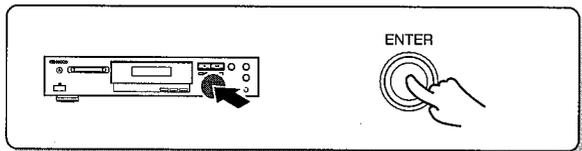
2 TRACK/EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで、"DISC NAME" を選ぶ



- TRACK EDIT キーを押し、ジョグダイヤルで "DISC NAME" を選びます。



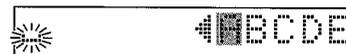
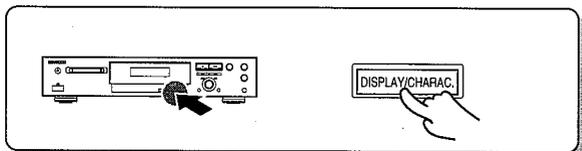
3 ENTER キーを押す



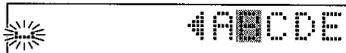
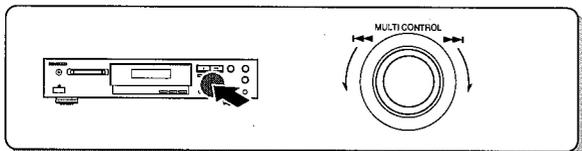
- 10 秒以内に ENTER キーを押します。
- 文字入力ができる状態になります。



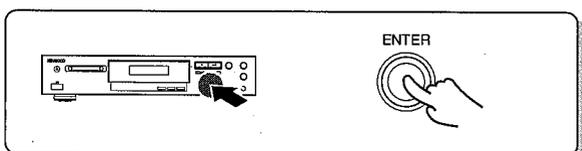
4 DISPLAY/CHARACTER キーを押して文字種類を選ぶ → 39



5 ジョグダイヤルで文字を選ぶ



6 ENTER キーを押す

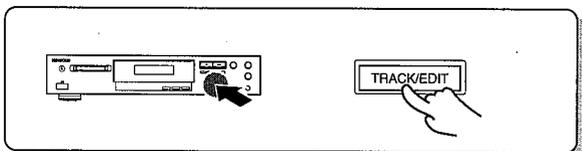


- 入れる文字を選択したら、ENTER キーを押します。

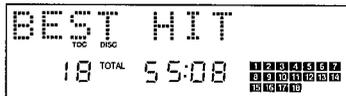


- 4 ~ 6 を繰り返し文字を入れます。次の文字種類が同じ種類の場合は 4 の操作は省略します。

7 名前を付け終わったら TRACK/EDIT キーを押す



- すべての文字を入力し終わったら、TRACK/EDIT キーを押します。

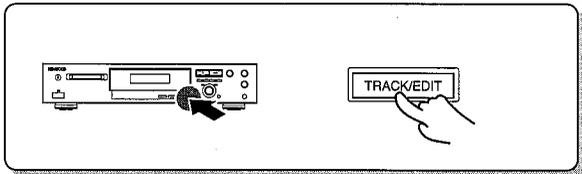


- プログラムモード ("PRGM" が点灯 → 22) の時、またはランダムモード ("RANDOM" が点灯 → 21) の時は、この機能は働きません。プログラムモード、ランダムモードを解除してから、操作してください。

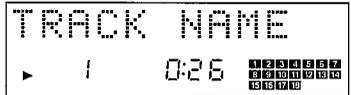
トラックネーム 曲名を付ける (TRACK NAME機能)

MDのそれぞれの曲に名前を付けることができます。曲名は、曲を選んだときや、再生中にいつでも表示させることができます。

1 再生中に TRACK/EDIT キーを押す

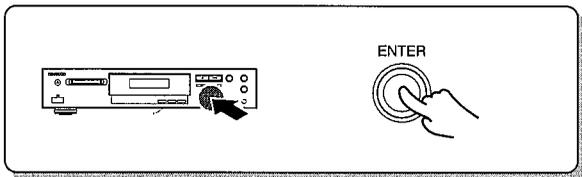


- トラックネーム "TRACK NAME" が表示されます。



- 曲番を選んで停止させているときや、一時停止中、録音中でも曲名を付けられます。そのときは、エディットメニューで "TRACK NAME" を選んでください。

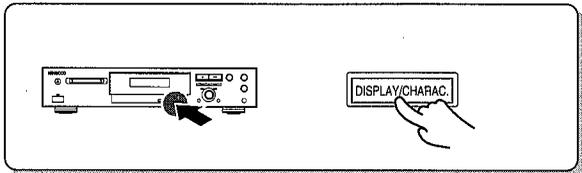
2 ENTER キーを押す



- 10 秒以内に ENTER キーを押します。
- 文字入力ができる状態になります。
- 再生中の曲が繰り返し再生されます。

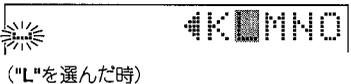
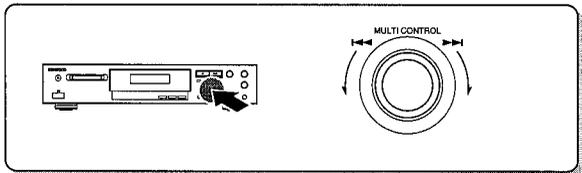


3 ディスプレイ/キャラクター DISPLAY/CHARACTER キーを押して文字種類を選ぶ



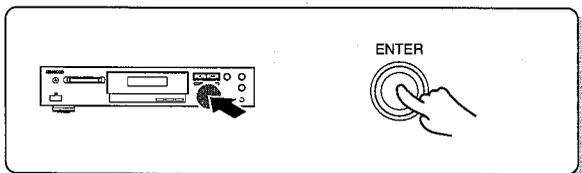
(大文字を選んだ時)

4 ジョグダイヤルで文字を選ぶ



("L"を選んだ時)

5 ENTER キーを押す

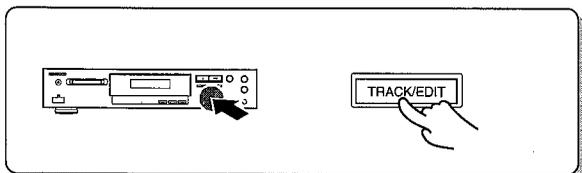


- 入れる文字を選択したら、ENTER キーを押します。

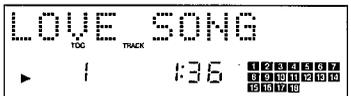


"L"入力

6 名前を付け終わったら TRACK/EDIT キーを押す



- すべての文字を入力し終わったら、TRACK/EDIT キーを押します。



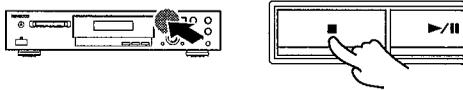
- プログラムモード ("PRGM" が点灯 → 22) の時、またはランダムモード ("RANDOM" が点灯 → 21) の時は、この機能は働きません。プログラムモード、ランダムモードを解除してから、曲を移動してください。
- 録音中に曲名を付けるときはその曲が終わる前に操作を終えてください。先に曲が終わったときはそのときまでに入力された文字だけが曲名として登録されます。

ディスク名や曲名を変更する

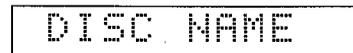
ディスク名や曲名を変更するとき、「DISC NAME」や「TRACK NAME」を表示させた後は、ディスク名、曲名とも同じ操作で文字の変更をします。

ディスク名を変更する

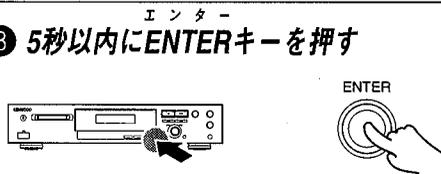
① ■キーを押して停止させる



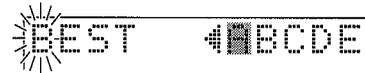
② TRACK/EDITキー押す



③ 5秒以内にENTERキーを押す



- 文字入力ができる状態になります。



- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

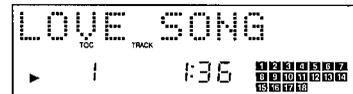
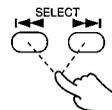
次ページの消去、追加、修正の作業に移ります。

曲名を変更する

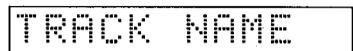
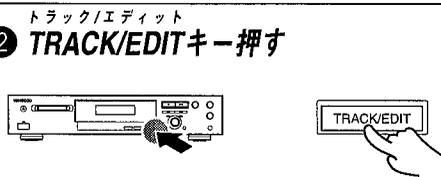
① 停止中に変更する曲名を表示させる



- リモコンで操作するときには、◀◀キー、▶▶キーで選びます。



② TRACK/EDITキー押す



③ 5秒以内にENTERキーを押す



- 文字入力ができる状態になります。



- 操作を取り消したいときは、■キーを押してください。

次ページの消去、追加、修正の作業に移ります。

前のページの「ディスク名を変更する」または「曲名を変更する」の操作に続いて、下の操作します。

文字を消去する (本体操作のみ)

- ④ ◀▶ キーを押して消したい文字を点滅させる



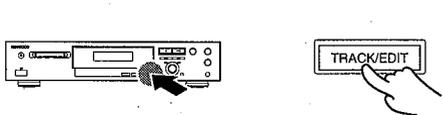
タイマー/デリート

- ⑤ TIMER/DELETEキーを押す



トラック/エディット

- ⑥ TRACK/EDITキーを押す

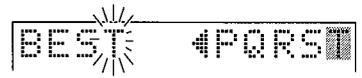


(42 ページの操作の後)

- 消去したい文字を選びます。



- 選んだ文字が消去されます。



文字を追加する (本体操作のみ)

- ④ ◀▶ キーを押して追加したい場所を点滅させる

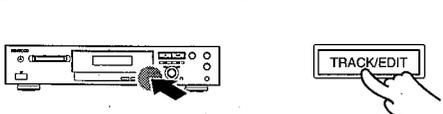


- ⑤ ジョグダイヤルで追加したい文字を選び、ENTERキーを押す



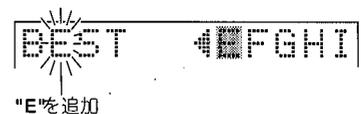
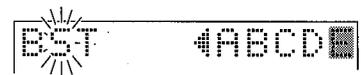
トラックエディット

- ⑥ TRACK EDITキーを押す



(42 ページの操作の後)

追加したい文字の後の文字を点滅させます。



もとの文字は右へ1桁ずつ移動します。



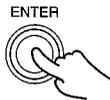
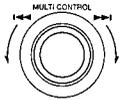
42ページの「ディスク名を変更する」または「曲名を変更する」の操作に続いて、下の操作します。

文字を入れ換える (本体操作のみ)

④ 入れ換える文字を消去する (→ 43)



⑤ 新しい文字を追加する (→ 43)



(42ページの操作の後)

- 「文字を消去する」操作で間違った文字を消去したあと、正しい文字を「文字を追加する」操作で追加してください。

ディスク名、または曲名を消去するには (本体操作のみ)

タイマー / デリート

④ TIMER/DELETEキー2秒以上を押す



42ページの操作の後;

TIME/DELETキーを2秒以上押します。

NAME CLEAR?

エンター

⑤ ENTERキーを押す



NO NAME

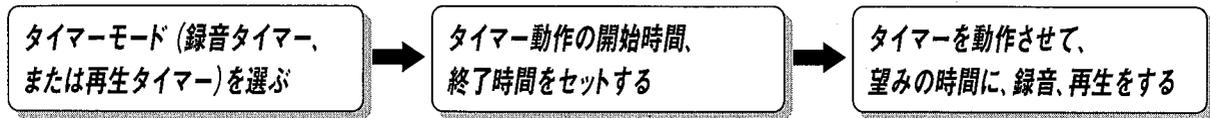
18 TOTAL 55:08



- ディスク名、または曲名が削除されます。

- タイマーを使う前に時計を正しく合わせておいてください。→ [19]
- 開始時間や終了時間は一度設定すると、本機の電源を切っても記憶しています。電源コードを抜いたとき、または新たに開始/終了時間を設定したときに変更されます。

タイマーは次のような手順でセットします。



タイマーモード(録音タイマーまたは再生タイマー)を選ぶ

① 停止中に タイマー/デリート **TIMER/DELETE** キーを押す

② エンター **ENTER** キーを押し、ジョグダイヤルでタイマーモードを選ぶ

③ **ENTER** キーを押す

- リモコンで操作する場合は タイマー **TIMER** キーを押します。

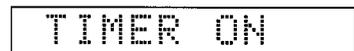


- タイマーセット "TIMER SET" 以外の時はジョグダイヤル、またはリモコンの **◀◀** キー、**▶▶** キーで "TIMER SET" を表示させます。

- ジョグダイヤル、またはリモコンの **◀◀** キー、**▶▶** キーで "TIMER PLAY" または "TIMER REC" を選びます。



- 開始時間のセットができるようになります。



タイマー開始時間/終了時間を合わせる

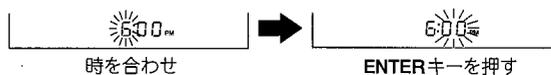
④ "時" を合わせ、**ENTER** キーを押す

⑤ "分" を合わせ、**ENTER** キーを押す

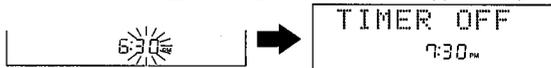
⑥ "時" を合わせ、**ENTER** キーを押す

⑦ "分" を合わせ、**ENTER** キーを押す

- ジョグダイヤル、またはリモコンの **◀◀** キー、**▶▶** キーで "時" の単位を合わせ、**ENTER** キーを押します。



- 同様に "分" の単位を合わせ、**ENTER** キーを押します。



- 終了時間のセットができるようになります。
- "時" の桁が自動的に1時間繰り上がった表示になります。

- 終了時間の "時" の単位を合わせ、**ENTER** キーを押します。



- 終了時間の "分" の単位を合わせ、**ENTER** キーを押します。



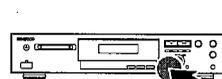
再生タイマーを使う

接続した機器の準備をする

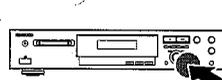
本機といっしょに使うアンプなどを前もって下のようにセットしておきます。

- アンプなどの音量を調整する
- タイマー機能を持っている場合、再生開始時間を同じにセットする

① 再生するMDをいれ、^{タイマー/デリート}TIMER/DELETEキーを押す



② ^{エンター}ENTERキーを押す



- リモコンで操作する場合は^{タイマー}TIMERキーを押します。

T-STANDBY

(タイマースタンバイモード表示)

- 再生タイマー以外の表示が出たときは、ジョグダイヤル、またはリモコンの◀◀キー、▶▶キーで再生タイマーモードに換えます。

TIMER
タイマー再生モード表示

- 電源が切れ、再生タイマーの待機状態になります。
("TIMER"表示がでます。)

録音タイマーを使う

接続した機器の準備をする

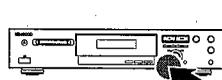
本機でタイマー録音する機器を前もって下のようにセットしておきます。

- タイマーで録音開始する時刻に、録音する音楽などがスタートできるようにセットする

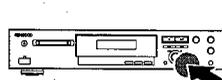
① 録音用MDをいれ、録音する入力を選ぶ



② ^{タイマー/デリート}TIMER/DELETEキーを押す



③ ^{エンター}ENTERキーを押す



- アナログ入力の場合は、録音レベルの調整をします。

T-STANDBY

(タイマースタンバイモード表示)

- リモコンで操作する場合は^{タイマー}TIMERキーを押します。

TIMER REC
タイマー録音モード表示

- 録音タイマー以外の表示が出たときは、ジョグダイヤル、またはリモコンの◀◀キー、▶▶キーで録音タイマーモードに換えます。

- 電源が切れ、録音タイマーの待機状態になります。
("TIMER REC"表示がでます。)



● 本機のタイマーは本機のみをコントロールします。接続した機器のON/OFFをする必要があるときは、別のタイマーを使用してください。

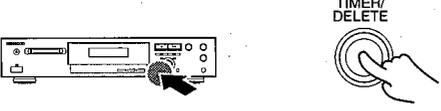
● タイマーの開始時間と終了時間を、同じ時間に設定することはできません。

下のような場合はタイマー録音機能は動きません。

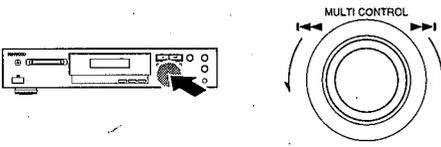
- MDが入っていないか、または再生専用MDがセットされている。
- セットしたMDが誤消去防止状態になっている。→ 9
- MDに録音できるスペースがない。("TOC FULL" "DISC FULL"が表示されているとき)

タイマー開始時間/終了時間を確認する

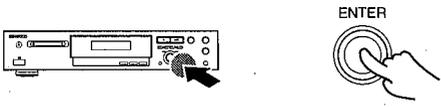
① タイマースタンバイモード中にタイマー/デリート **TIMER/DELETE** キーを押す



② タイマーコール "TIMER CALL"を表示させる



③ エンター **ENTER**キーを押す



- タイマー待機中（タイマーがセットされて待機している状態）に **TIMER/DELETE** キーまたは、リモコンの **TIMER** キーを押す。

- ジョグダイヤルを回して、"TIMER CALL"を表示させます。

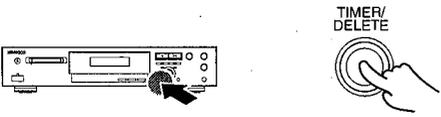
- セットされた時間が順に表示された後、もとの表示に戻ります。

タイマー動作を取り消す

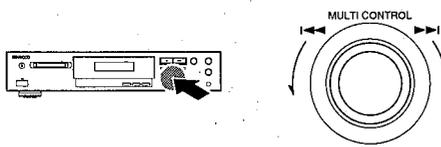
ON/STAND BYキーを押して電源を入れるとタイマー動作が取り消されます。

次のように操作してもタイマー動作を取り消すことができます。

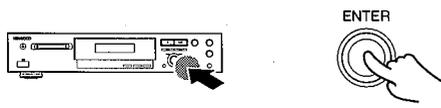
① タイマー待機中にタイマー/デリート **TIMER/DELETE** キーを押す



② タイマーキャンセル "TIMER CANCEL"を表示させる



③ エンター **ENTER**キーを押す



- タイマー待機中（タイマーがセットされて待機している状態）に **TIMER/DELETE** キーを押す。

- ジョグダイヤルを回して、"TIMER CANCEL"を表示させます。

- タイマー "TIMER"または タイマーレック "TIMER REC" 表示が消えタイマーが解除されます。
- タイマー開始時間、終了時間の設定は保持されています。



タイマーの開始時間は、設定した時間の約15秒前に電源が入るようになっています。

MDの規格上の制約について

MDは従来のカセットテープとは異なり、録音方式や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。

症 状	原 因
<ul style="list-style-type: none"> ● MDの最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”または“TOC FULL”が表示されることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音時間に関係なく、曲数が最大になると録音できなくなります。(最大曲数：255曲) また、録音編集を繰り返したMDやMDにキズがある場合は、上記未満でも録音できないことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 曲数や録音時間が最大曲数に満たなくても、“DISC FULL”が表示されることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 編集で曲と曲をつなげないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音、編集を何回も繰り返して行ったMDではCOMBINE機能が使えないことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクに録音した時間と残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常は1クラスタ(MDの区分けのことで、約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います、このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。

こんなときは

録音中に停電すると

録音中に約10分以上停電すると、TOC(トック)情報が書き込まれないため、そのとき録音した内容は消えてしまいます。(約10分以内に電源が入った時は、本機が記憶している内容を自動的に書き込みます。)

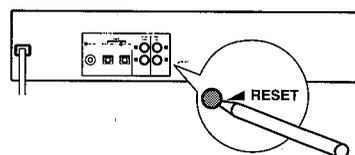
すでに録音されているMDに追加して録音した場合、TOCを書き換える前に電気が切れたときは、追加した部分の記録が消えてしまいます。

正常な動作をしなくなったときは

本機を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常などの影響を受けた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受け付けなくなったり、間違った表示をするなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、次のようにしてください。

- ① ACコードをコンセントから外す。
- ② 約20～30秒間そのままにしたあと、ACコードをコンセントに差し込む。
- ③ 本体背面のRESETキーをボールペンなどで押す



RESETキーを押すと記憶していた内容はすべて消えます。

もう一度お調べください

調子が悪いと故障とお考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

全般

症 状	原 因	処 置
時計が合っていない	● 停電などがあった。	● 時刻を合わせ直す。
キーを押しても動作しない	—	● 電源を一度切って入れ直した後、操作してみる。
ラジオに雑音が入ったりテレビ画像がゆがむ	● ラジオやテレビが室内アンテナを使って本機のそばにある。	● ラジオ、テレビのアンテナを屋外アンテナに変えることをおすすめします。

音 声

症 状	原 因	処 置
録音できない	● MDが誤消去防止になっている。	● MDの誤消去防止ツマミを解除する。
	● 再生専用MDに録音しようとした。	● 録音用MDと換える。
	● "TOC FULL"の表示が出ていませんか。	● 録音できる残りのあるMDに換える。
MDをセットしても"no disc"や"Error"の表示が出る	● MDが非常に汚れている。	● MDを交換する。
再生中に停止する、または正常に再生できない	● 本機を振動の激しい場所に置いている。	● 本機を振動のない、水平な場所にセットする。
再生音が飛ぶ	● 内部に露が付いている。	● MDを取り出し電源を入れたままにする。約1時間で正常になります。

リモコン

症 状	原 因	処 置
リモコンが動作しないか、または誤動作する	● 電池（極性）が正しく入っていない。	● 正しくセットする。
	● 電池が無くなっている。	● 2本とも新しい電池に換える。
	● リモコンの動作範囲と距離の範囲外。	● 「リモコンの使いかた」を参照してください。
	● MDが入っていない。	● MDを入れる。
リモコンから電源が入らない	● 電源コードがコンセントから抜けている。	● 電源プラグをコンセントに差し込む。

こんな表示が出たときは(本体表示)

次のようにしてください

表 示	意 味	処 理 方 法
BLANK MD	●何も記録されていない	●録音済みのMDに交換する
Can't COPY	●SCMSの規定によりコピーできない	●アナログ接続で録音する
Can't EDIT	●編集できない	●曲の停止位置を変えて編集してみる
Can't REC	●ディスクのキズや、振動などで正しく録音できなかった	●録音し直す、または交換する
DEFECT	●MDにキズがあるため録音が途切れた	●他の録音用MDに交換する
Din UNLOCK	●デジタルケーブルの接続不良	●デジタルコードを確実に接続する
DISC ERR** (**：文字/記号)	●ディスクにキズが付いているか、またはTOCが記録されていない	●MDを入れ直すか、または交換する
DISC FULL	●MDに録音できる空きがない	●他の録音用MDに交換する
FOCUS ERROR	●MDが入っていない ●MDのデータが読めない	●他のMDに交換する
MD ERROR	●不具合が発生した	●販売店か、またはケンウッドサービスセンターに連絡する
MECHA ERR** (**：文字/記号)	●機械に不具合が発生し、正常に動作できない	●48ページの「正常な動作をしなくなったときは」の項を参照してマイコンをリセットしてください。
NAME FULL	●ディスク名や曲名の文字数が100を越えた	●ディスク名や、曲名を短くする
NO DISC	●MDが入っていない ●ディスクのデータが読めない	●MDを入れる ●MDを入れ直す
NOT AUDIO	●音楽以外(データなど)が入ったMDを再生した	●別のトラック(曲)を選ぶ ●他のMDに交換する
PLAYBACK MD	●再生専用MDに録音しようとした	●録音用MDに交換する
PROTECTED	●MDが誤消去防止状態になっている	●MDの誤消去防止ツマミをもとに戻す
TEMP OVER	●温度が高くなりすぎた	●電源を切ってしばらく待つ
TOC ERR* (*：文字/記号)	●MDに大きなキズがある	●他の録音用MDに交換する
TOC FULL* (*：文字/記号)	●文字情報(曲名や、ディスク名など)を記録する空きがない	●他の録音用MDに交換する
TOC W ERROR	●不具合が発生した	●販売店か、またはケンウッドサービスセンターに連絡する
U TOC ERR* (*：文字/記号)	●TOCがMDの規格に合っていないが、読めない	●他のMDに交換する ●すべてのデーターを消して、録音し直す
U TOC W ERR	●振動や、MDのキズなどによりTOCが正常に記録できなかった	●電源を切ってTOCを書き直してみる(TOC記録中は振動や、衝撃を与えない)
? DISC	●記録した信号に異常がある	●他の録音用MDに交換する
00 0:00	●音楽が録音されていない	●他の録音用MDに交換する

【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding) アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング
回転数	約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/A、A/Dコンバーター】

D/A、A/Dコンバーター	1ビット
サンプリング周波数	44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	100 dB 以上
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度/入力インピーダンス	0.5 V / 22 kΩ以上
アナログ出力レベル/出力インピーダンス	2.0V / 2 kΩ
ヘッドホン	15mW/32Ω負荷
デジタル入力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75Ω
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm
デジタル出力	
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	13 W
最大外形寸法	幅 440mm
	高さ 94mm
	奥行 300 mm
質量(重量)	3.6 kg(正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日、販売店名など）が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスセンター、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所にご連絡ください。

(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスセンター、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。
(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスセンター、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9
(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、各営業所にご相談ください。